

官報

號外

明治四十四年一月二十五日

水曜日

印刷局

第二十七回 衆議院議事速記第四號

明治四十四年一月二十四日(火曜日)午後一時九分開議

議事日程 第三號 明治四十四年一月二十四日

午後一時開議

質問

一 對清政策ニ關スル質問(松本君平君提出)
治安取締ニ關スル質問(澤來太郎君提出)

第二 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十九 明治四十四年勅令第三百三十三號(承諾ヲ求ムル件)

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十一 明治四十四年勅令第三百二十六號(承諾ヲ求ムル件)

第二十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十三 明治四十四年勅令第三百二十七號(承諾ヲ求ムル件)

第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十五 明治四十四年勅令第三百二十八號(承諾ヲ求ムル件)

第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第二十七 明治四十四年勅令第四百六號(承諾ヲ求ムル件)
第二十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第二十九 國稅徵收法中改正法律案(根岸峯太郎君外四名提出) 第一讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

明治四十年法律第三十號廢止法律案

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

日本興業銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

(第一號)明治四十四年三年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)明治四十四年三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一 松本君平君ヨリ對清政策ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 澤來太郎君ヨリ治安取締ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 小久保喜七君ヨリ國定教科書配給不足ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 藏原惟郭君ヨリ歐米外交ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

對清政策ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年一月二十一日

提出者 松本 君平

贊成者 竹越 與三郎

外二十九人

一 對清政策ニ關スル質問主意書

近時清國ニ於ケル人心ノ趨向ヲ見ルニ感情離隔シ排日思想各方面ニ勃興シ

ツツアリ從來我カ國カ清國ノ爲ニ努力セシ誠意ハ却テ反感ヲ以テ迎ヘラレムトス

ルモノノ如シ是ノ如キハ從來帝國ノ對清外交ニ一定不動ノ方針ナク其ノ施設

ニ於テ注意ト努力ノ足ラサルモノアルニ由ル政府ハ如何ナル方針ヲ以テ今後ノ

清國ニ對セムトスルカ

二 清國利權回收熱ノ沸騰ト共ニ列國從來ノ對清政策ハ一變シテ借款政策ト化

シ此ノ問題ヲ中心トシテ列國ハ激烈ナル努力ヲ試ミツツアリ而シテ清國財政ノ

前途政治上ノ情態甚容易ナラス此ノ際帝國政府ハ列國ノ對清借款運動ニ對

シテ如何ナル方針ヲ採ラムトスルカ

三 我カ對清貿易ハ今や列國ニ冠タルモノアリト雖清國到處ニ日貨排擠ノ運動ア

リ清人ノ惡意ニ由ルカ將タ更ニ深キ原因アルカ容易ナラサル此ノ趨勢ニ對シテ政府ハ如何ナル具體的成案アリヤ且今日對清貿易ノ基礎甚薄弱ナルモノアリ大ニ直接貿易ヲ獎勵スルノ策ヲ講シ列國ノ侵略ニ備フルニ非サレハ寒心スヘキモノアラム當局者ハ之ニ對スル何等ノ考案アリヤ對清貿易ト離ルヘカラサル問題ハ金融政策ノ問題ニシテ從來對清貿易ニハ正金銀行ナル機關アリ其ノ基礎信用共ニ強固ナリト雖其ノ組織沿革共ニ對清貿易ノ機關トシテ未タ充分ナリト云フヘカラス世間既ニ日清銀行設立ノ論アリ之ニ對スル政府ノ方針如何
四 列國ノ清國ニ於テ努力シツツアル問題ハ獨リ外交通商借款ノ物質上ノ問題ノミニ非ス列國ハ傳教ノ自由ヲ有シ基督教ハ至ル處ニ其ノ宗教ノ感化ト勢力ヲ擴大ニシツツアリ然ルニ我カ國ノ佛教徒カ清國ニ於テ布教ヲ試ミムトスルヤ清國政府ハ之ニ對シテ異議ヲ唱ヘ基督教ト同様ノ自由ヲ有スルコト能ハスト開ク果シテ然リトモ其ノ理由如何
右及質問候也

治安取締ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年一月二十一日
提出者 澤 來太郎

贊成者 鈴木寅彦
外二十九人

治安取締ニ關スル質問主意書

現當局者ノ治安ニ對スル方針ハ漠トシテ捕捉シ難シ當局ノ方針果シテ如何
右及質問候也

一中村豐次郎君ヨリ第二十七議會ニ對シ歲費辭退ノ旨届出アリ
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去二十一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
明治四十一年法律第十一號中改正法律案外一件

東條 夏平君 有田 源一郎君 橋本 次六君
伊東 要藏君 國山 勇君 清水 市太郎君
佐野 春五君 森田 俊左君
帝國鐵道會計法中改正法律案外一件

吉植 庄一郎君 宮古 啓三郎君 永江 純一郎君
肥後 幸盛君 田中 定吉君 河野 郁太郎君
大岡 育造君 山口 熊野君 島田 保之助君
井上 敏夫君 東 武君 古井 由之君
村上 先君 青柳 信五郎君 伊東 祐賢君
石田 仁太郎君 内藤 利八君 加藤 正英君
守屋 此助君 木下 謙次郎君 榑 瀨軍之助君
森 正君 大野 龜三郎君 荒川 五郎君
小橋 榮太郎君 川真田 德三郎君 松本 恆之助君
帝國大學特別會計法中改正法律案
鶴澤 總明君 高原 篤行君 西澤 定吉君
井上 傳作朝君 藏原 惟郭君 西村 丹治郎君
山根 正次君 木村 省吾君 藤澤 元造君

沖繩縣農工銀行補助ニ關スル法律案
塚田 啓太郎君 阿部孫左衛門君 横山 寅一郎君
高久 倉藏君 鈴木 友治郎君 藤井 善助君
河井 重藏君 木村 長君 梅原 眞君
朝鮮ニ於ケル貨幣整理ノ爲生シタル債務ヲ貨幣整理資金特別會計ニ移屬セシムル件ニ關スル法律案外三件

板倉 中君 小山田 信藏君 大坂 金助君
高橋 光威君 松本 君平君 千田 軍之助君
麥田 宰三郎君 武市 庫太郎君 柳田 清兵衛君
中沼 信一郎君 大津 淳一郎君 鈴木 力君
村松 恆一郎君 金尾 稜嚴君 鈴木 倉次郎君
森 肇君 中村 豐次郎君 松尾 寅三君
朝鮮森林特別會計法案

稻村 辰次郎君 遠藤 吉平君 坪田 十郎君
藏内 治郎作君 渡邊 修君 大内 暢三君
大津 淳一郎君 森 肇君 神藤 才一君
治水費資金特別會計法案外一件

長島 鷲太郎君 根岸 岨太郎君 大繩 久雄君
阿部 政太郎君 後藤 文一郎君 大野 久次君
山際 敬雄君 松田 吉三郎君 神前 修三君
秋岡 義一君 望月 圭介君 中川 虎之助君
高 森 新君 元田 肇君 藤代 市之輔君
高木 正年君 木村 格之輔君 堀江 覺治君
加藤 政之助君 平島 松尾君 牧野 平五郎君
矢島 浦太郎君 中村 彌六君 加瀬 禎逸君
大竹 貫一君 細野 次郎君 佐々木 鐵太郎君
裁判所位置名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案

齋藤 二一郎君 原岡 永江君 村松 龜一郎君
長 晴 登君 古森 泰君 小野崎 耕夫君
藤澤 幾之輔君 澤 來太郎君
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
明治四十一年法律第十一號中改正法律案外一件委員會

委員長 國山 勇君 理事 清水 市太郎君
帝國鐵道會計法中改正法律案外一件委員會
委員長 大岡 育造君 理事 吉植 庄一郎君
帝國大學特別會計法中改正法律案委員會
委員長 鶴澤 總明君 理事 内藤 利八君
委員 長 沖繩縣農工銀行補助ニ關スル法律案委員會
委員長 塚田 啓太郎君 理事 藤澤 元造君
委員 長 阿部孫左衛門君

朝鮮ニ於ケル貨幣整理ノ爲生シタル債務ノ貨幣整理資金特別會計ニ移屬セシムル件ニ關スル法律案外三件委員會

委員長 板倉 中君 理事 小山田 信藏君 中村 豐次郎君

治水費資金特別會計法案外一件委員會

委員長 元田 肇君 理事 長島 鸞太郎君 山際 敬雄君 加瀬 禧逸君 平島 松尾君 矢島 浦太郎君

朝鮮森林特別會計法案委員會

委員長 渡邊 修君 理事 大内 暢三君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シマス、豫算委員長ヨリ豫算委員會ハ審查期限モアリマスカラシテ、本會ノ開會中ニモ開會スルコトニ許可ヲ得タイト云フコトアリマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ豫算委員長ヨリ請求ノ通りニ可決致シマス、尙念ノタメニ申シテ置キマスガ、豫算委員會ヲ開クコトハ、本日ニ限ツタコトデハナシ、豫算委員會ノ期限中ハ本會ノ開會中ニモ開キタイト云フコトデスカラ、左様御承知ヲ請ヒマス、是ヨリ小村外務大臣ノ演說ガアリマス

(外務大臣伯耆小村壽太郎君登壇)

○外務大臣伯耆小村壽太郎君 諸君、茲ニ本院ニ於テ外交ノ經過ニ關シ、其概要ヲ陳述スル機會ヲ得マシタノハ、本大臣ノ最モ光榮ト致スコロデゴザリマス、帝國外交ノ方針ガ東洋ノ平和ヲ維持シ、帝國ノ安固ヲ確保シ、併セテ帝國ノ利權ヲ擁護スルニ在リコトハ、本大臣ノ本院ニ於テ會テ開陳致シタルコトデゴザリマス、(佐々木安五郎君「高聲ニ望ム」ト呼フ)帝國政府ハ此方針ニ遵據致シマシテ、宇内ノ形勢ニ適應シテ、常ニ必要ナル措置ヲ取ルヲ意ラサルコトヲ期シテ居リマス、帝國ノ列國トノ關係ハ年ヲ逐ウテ益々敦厚トナリマシテ、其間ニ何等親交ヲ害スルガ如キ事實ノ發生スルコトナキハ、本大臣ノ諸君ト共ニ最モ欣幸ト致スコロデゴザリマス、殊ニ日英同盟ハ年ト共ニ其鞏固ヲ加ヘ、日英兩國政府ノ意思ハ十分ニ相疏通シテ居リマシテ、東洋ノ平和ヲ維持ニ資スルコトニ愈々大ナルハ、慶賀ニ堪エザル次第デゴザリマス、昨年倫敦ニ開催セラレマシタル日英博覽會ハ、英國皇室並ニ同國朝野ノ最モ深厚ナル庇護同情ノ下ニ、遺憾ナク其目的ヲ遂ゲマシテ、我國盟國國民ノ多數ハ該博覽會ニ就キマシテ、親シク我帝國文化ノ真相ヲ、淵源ヲ知悉致シマシテ、大ニ兩國國民ノ親睦ニ資スルコトガアツタ次第デゴザリマス、而シテ該博覽會ガ通商上ニ及ボシタル影響ニ至リマシテハ、其日英貿易將來ノ發展ニ貢獻スルコト大ナルベキコトハ、本大臣ノ信ジテ疑ハヌコトデゴザリマス、次ニ日露兩國ノ關係ガ益々親厚ヲ加フルニ至ルベキハ、本大臣ノ前議會ニ於テ既ニ開陳致シタルコトデゴザリマス、爾來兩國政府ハ善鄰ノ交誼ヲ敦クシ、東洋ノ平和ヲ確保センガタメニ互ニ腹藏ナク其意見ヲ交換致シマシテ、其結果日露兩國ノ利害ガ滿洲ニ於テ相接觸シテ居ル事實ニ鑑ミマシテ、更ニ兩國間ニ一ノ協約ヲ締結致シ以テ、前同ノ協約ヲ補成シ兩國ノ利害ヲ調和スルコトヲ以テ最モ適當ト認メマシテ、昨年七

月四日ヲ以テ露都ニ於テ第二回日露協約ニ調印ヲ致シタル次第デゴザリマス、世間或ハ該協約ガ何等危險性質ヲ有スルヤノ疑ヲ懷ク者モアルヤウデゴザリマス、ケレドモ、該協約ハ前協約ノ主義ヲ確認シ、且其規定ヲ補充致シマシテ、以テ滿洲ノ現狀ヲ維持シ、東洋ノ平和ヲ確保スルヲ唯一ノ目的トスルモノデアルコトハ、本大臣ノ茲ニ明確ニ宣言スルヲ憚ラヌコトデゴザリマス、該協約ノ締結以後日露兩國ノ交情ハ其敦キヲ加ヘマシテ、兩國政府ハ互ニ友好和衷ノ精神ヲ以テ、時々起生スルコトノ案件ヲ處理シツアルノハ、本大臣ノ諸君ト共ニ最モ満足スルコトデゴザリマス、次ニ韓國ニ關シマシテハ、帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ維持シ、帝國ノ安固ヲ確保センコトヲ欲シマシテ、曩ニ韓國ヲ我保護ノ下ニ置キ、銳意諸般ノ改革ヲ行ヒマシテ、努メテ豫期ノ目的ヲ達センコトヲ期圖セシコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデゴザリマス、然ルニ帝國政府ノ所期ハ保護ノ制度ニ依リ、十分ニ之ヲ收ムルヲ得ザルモノナラズ、速ニ其統治方法ニ對シテ根本的改革ヲ加フルニアラザレバ、遂ニ或ハ收拾スベカラザル事態ヲ生ズル虞ナキヲ保シ難キニ至リマシタカラシテ、政府ハ已ムラ得ヌ斷然韓國ノ併合ヲ實行スルコトニ決定致シマシテ、昨年八月ヲ以テ其意ヲ韓國政府ニ致シマシタルコト、韓國政府モ既ニ併合ノ已ムベカラザルコトヲ承認致シ、又韓國皇帝陛下ニ於ケレマシテモ、大局ヲ洞鑒セラレマシテ、日韓兩國ノ併合ヲ以テ相互永遠ノ幸福ニ合スルモノト認メラレマシタルニ依リ、八月二十二日ヲ以テ併合條約ヲ調印ヲ了スルニ至ッタ次第デゴザリマス、該條約當然ノ結果ト致シマシテ、從來韓國ト諸外國トノ關係ガ之ニ代リ、朝鮮ニ行ハル、コトニナリマシタ、是ト同時ニ從來諸外國人ガ朝鮮ニ於テ有シテ居リタル治外法權ノ特典ハ、全ク廢滅ニ歸スルコト、ナッタノデゴザリマス、蓋シ朝鮮ニ於テ外國人ヲシテ治外法權ノ特典ヲ保有セシムルハ其統治ニ非常ノ不便不統一ヲ來スノミナラズ、外國人ヲシテ既ニ日本本土ニ於ケルト同一ノ權利特典ヲ享有セシムル以上ハ、其治外法權モ亦之ヲ拋棄セシムルコト固ヨリ當然ト認メマシタカラ、政府ニ於ケマシテハ條約ノ消滅ヲ機ト致シマシテ、治外法權ヲ廢滅スルコトニ致シマシタル次第デゴザリマス、又從來韓國ト諸外國トノ間ニ於ケル協定稅率モ、條約消滅ト同時ニ廢滅ニ歸シタル譯デゴザリマス、ケレドモ、帝國政府ニ於ケマシテハ諸外國人朝野ニ有スルコト、經濟上ノ利害ニ對シマシテハ、出來得ル限り不利ナル影響ヲ及ボサザルコトヲ期シ、且日鮮間ノ經濟關係ニ對シ、急遽ナル變革ヲ加フルガ如キ措置モ亦成ルベク之ヲ避クルヲ得策ト認メマシタカラ、帝國政府ハ協定稅率ノ既ニ廢止トナレリニ拘ラズ、其任意ノ處置ト致シマシテ、十年間從來ノ關稅稅率ヲ維持スルコトニ決定致シタル次第デゴザリマス、前述ノ次第ハ併合條約締結ノ事實ト共ニ、既ニ之ヲ關係諸外國ニ其當時通牒致シマシタル諸外國ガ東洋ノ大勢ニ鑑ミ、又我帝國ノ地位ニ顧ミマシテ、韓國併合ノ已ムベカラザル措置タルヲ諒承セルコトヲ、茲ニ確言致スコトヲ得ルノハ、本大臣ノ喜ブコトデゴザリマス、次ニ條約改正ニ關シマシテハ、帝國政府ハ談判開始ニ關スル諸般ノ準備ヲ終ヘマシテ、維新以來ノ宏謀ニ基キ、全然我稅權ヲ回復シ、且從來ノ條約中ニ存在シテ居リタル不對等ノ條項ヲ除却スルノ主旨ヲ以テ、新條約案ヲ起草致シマシテ、昨年七八月ノ交ヲ以テ、現行條約廢棄ノ豫告ヲ關係諸國ニ發シ、尋イデ新條約案ヲ是等ノ諸國ニ提出致シマシタル關係諸國中ニハ、既ニ我提案ノ審查ヲ了ヘマシテ、其對案ヲ我ニ致セルモノモアリマス、モナラズ、其他ノ諸國ニ於ケマシテモ、目下我提案ニ付キ講究ヲ遂ゲツ、アル次第デゴザリマス、帝國政府ハ成ルベク速ニ是等ノ諸國トノ間ニ、全然對等ノ基礎ニ於テ、新條約ヲ締結セシコトヲ期シ、銳意談判ノ進捗ヲ努力シツ、アルコトデゴザリマス、殊ニ英國トノ條約改正談

判ハ、目下順當ニ進行シツ、アルヲ以テ遠カラザル中ニ、該談判ノ終了ヲ告ケ、日英兩國俱ニ満足スベキ新條約ノ成立ヲ見ルニ至ルベキハ帝國政府ノ確信致シテ居ルトコロデゴザイマス、外交ノ經過ハ概略唯今述ベタル通りデゴザイマス、諸君ニ於テ宜シク御諒承アラントヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 外務大臣ノ演說ニ對シテ、說明ヲ求ムルノ通告ガアリマス、尾崎行雄君

○尾崎行雄君 極メテ簡單ナル說明ヲ求ムル條項アリマス、此席カラ……

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

(「尾崎行雄君登壇」)

○尾崎行雄君 唯今外務大臣ノ外交演說ニ對シテ、數箇疑ヲ生ジテ說明ヲ求メナケレバナラヌ必要ヲ感ジマス故ニ、概略其疑問ノ要點ヲ舉ゲテ見マス、殊ニ此外交上私ハ主ニ條約改正ニ關スル點ニ付テ、說明ヲ求メタイノアリマス、其他ノ點ニ於テモ、語テ未ダ詳ナラザルノ憂ハアリマス、コレハイツレ他ノ諸君カラ求メラレルト、思ヒマス故ニ、私ハ條約改正ニ限リテ、二三ノ說明ヲ求メマス、今回ノ條約改正即チ幾多ノ事項ハアリマス、稅權ヲ恢復スル、完全ナル對等國ノ資格ヲ具ヘルヤウニスルト云フ、此稅權恢復ニ就テ、外務大臣ハ今回ハ國定稅率ヲ實行スルノ原則トシテ、協定稅率ヲ用井ナイ方針デアルト云フコトハ、昨年此問題ノ委員會ニ於テ、數回明言セラレタリマス、協定稅率スベキ國ハ多分一箇國カニ箇國ヨリ外ハナイデアラウ、其他ノ國ハ總テ國定稅率ヲ適用スルノデアルト云フコトヲ委員會ニ於テ數回說明セラレタリマス、今其速記ノ寫ヲ持テ居リマス、一々之ヲ舉ゲルノ必要ハナイ、諸君ノ御承知ノ通りデアラウト思フ、殊ニ英國ニ對シテハ、御承知ノ如ク英國ノ如キハ所謂自由貿易ノ政策ヲ執テ居リマス、是トハ協定ノ餘地ハナイト云フコトヲ委員會ニ於テ明言セラレテ居リマス、全體協定ヲスベキ國ハ世界中ニ於テ一箇國ヨリナイガ、英吉利ノ國ハ無論其一二國ノ中ニ入ッテ居ラス、先キ自由貿易ノ政策ヲ執テ居ル故ニ、我カラ之ヲ協定スルノ餘地ハナイト云フコトヲ明白ニ述ベラレテ居リマス、是ハ一回ノミナラス何回モ述ベラレテ居リマス故ニ、即チ不協定ノ方針ヲ以テ進マレト云フコトハ疑ヲ容レヌノデアル、是ニ於テ今日順當ニ談判ガ進行シツ、アルト述ベラレマス、其談判ナルモノニハ關稅問題即チ關稅率ヲ改正スルト云フ問題ハ入ッテ居ルノデアルカ、入ッテ居ラスノデアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、前年屢々明言セラレタス、協定ノ餘地ハナイ、英吉利ト此問題ニ就テハ談判ハセヌ積リデアルト云フヤウナ方針ヲ今日尙執ラレテ居ルノデアルナラバ、今順當ニ進行シツ、アルト即チ雙方共ニ満足スベキ條約ヲ締結スルコトヲ得ルコトハ、近キ將來ニアルト大層誇顔ニ述ベラレマス、其雙方満足スベキ談判ノ中ニハ關稅問題ハ入ッテ居ルノデアルカ、入ッテ居ラスノデアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、コレカラモウ一ツハ英吉利ニ付テノミナラス、他ノ歐洲列國ニ對シテモ、多クハ協定セヌト云フコトガ、昨年ノ方針デアッタ違ヒナイガ、英吉利以外ノ國ニ對シテモ、所謂一二箇國ヲ除イテハ、本年モ尙協定ハセヌ關稅問題ヲ全ク取除イテ談判ヲ進行シツ、アル、即チ昨年通りノ方針ヲ執ラレテ居ルヤ否ヤト云フコトガ第二ニ承リタイ、第一ハ英吉利ニ對シテ昨年通り不協定ノ方針ヲ執ラレテ居ルカ、第二ハ他ノ列國ニ對シテモ、ヤハリ不協定ノ方針ヲ執ラレテ居ルカ、第三ハ若シ其方針ヲ今年ハ一變セラレテ、他ノ國ニ對シテハ免ニ角英吉利ニ對シテハ、關稅問題ヲ尙談判中デアル、即チ不協定ト云フ方針ヲ一變シテ、協定ニ變更シタイトスルナラバ、其理由

ドウ云フ譯デアルカ、ナゼ昨年アレマデ確信シテ疑ハナイト再三明言シ、一國政府ノ方針トシテ確定シテ居ラヌ不協定ノ方針ヲ、何故ニ俄然一變シテ今日ハ談判シツ、アルカト云フコトガ承リタイノデアルカ、是ハヤハリ依然不協定ノ方針ヲ執ラレテ居ラレト云フコトデアラナラバ、此疑ハ自然消滅スルノデアリマス、故ニ前二項ニ對シテ其席ヨリ御說明ガ承レルナラバ直ニツレニ關聯シテ起ルベキモノヲ尙二三項承リタイノデアリマス——此處ニ於テ說明ヲ承ルコトガ出來マス、或ハ一應退席シナケレバ、此席ニ外務大臣ガ出ラレナケレバ、說明サレヌノデアルカ、ツレバ議長ヨリ御確メヲ願ヒタイ、若シ此席デ承ルコトガ出來レバ、此所デ承テ後ニ私ハ續イテ述ベタイト思フノデアル

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 此所ヨリ御答致シマス

(「登壇」聽エナイト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 自席デ發言ヲ許シマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 大キナ聲デヤリマス(同席デハドウデス)ト呼フ者アリ)前議會ニ於テ條約改正ノ方針ヲ陳述致シマスニ當リマシテ、今回ノ談判ニ於テハ關稅ハ國定稅率ニ依ルノ原則トスルト云フコトヲ申シタノハ、其通りデゴザイマス、尾崎君ノ言ハレル通りデゴザイマス、而シテ其當時ニ於テハ世間或ハ如何ナル國トモ關稅ノ協定ガ出來得ルヤノ觀念ヲ有スル者ガ多ウゴザイマシタカラ、國定稅率ニ依ルコトヲ原則トスルケレドモ、場合ニ依ッテハ相互ノ利益ノためニ稅率ヲ協定スルコトハ避ケヌ積リデアル、併ナガラ協定ヲスル國ハ極ク少數デアル、或ハ二三ノ國ニ止マルカモ知レヌト云フコトヲ申シテ居リマス、事實其通りデゴザイマス、如何ナル國トモ協定ガ出來ルト云フコトハ或ハ其國ノ貿易政策、或ハ其國ノ方針上出來ナイ國柄モ多クアルノデゴザイマス、而シテ英國トノ條約改正ノ交渉ニ於テハ、種々尾崎君カラ御質問ガゴザイマシタケレドモ、是ハ前日本院ニ於テモ明答致シテ置キマシタ通り、英國トノ條約改正ノ交渉ニ關シマシテハ、目下進行中デアリマス、遺憾ナガラ適當ノ時期ニ達スルマデハ一言モ言フコトハ出來ヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス(笑聲起ル)

○尾崎行雄君 唯今ノ御答ニ付テ、尙一應念ヲ押シテ置キタイノハ、私ハ進行中ノコトヲ一言モ問ウタノデアリマセヌ、昨年既ニ不協定ノ方針デアルト云フコトヲ再三明言セラレタアルガ、ヤハリ其通りニヤッテ居ルノデアルカ、ドウカト云フコトデアル、是ハ既ニ昨年明言シタノデアルカラシテ、今日其通りデアルナラ、アルト言ヘヌコトハナイ道理デアリマス、昨年通りノ方針デアルガ、協定ハセヌト云フコトヲ問ウタノデアリマス、ツレハ少シ御答ガ筋違ヒト思ヒマス故ニ、尙說明ヲ求メマス、序ニ此所ニ速記録ノ書拔ヲ持ッテ居リマス故ニ、尙二三箇條ヲ念ノタメニ、讀上ゲテ外務大臣ノ記憶ヲ喚起シテ置キタイト思フノハ、唯今ハ二三箇國ノ外ハ協定ヲシナイト云フコトヲ言ウタト云フ御話デアリマス、昨年ノ速記録ニハ「ツレデ一箇國ヲ除クノ外ハナイ」ト云フコトヲ言ッテ居ル、ツレカラ其次ニハ「若シ一又ハ二ノ國ト協定ヲシタ場合ニ於テ、均霑スルト云フモノガ云々」ト云フコトヲ述ベラレテ居ル、又其次ニハ「協定稅率ノ出來ル國ハ、一國カ二國ノ見込デアリマス」ト云フコトヲ述ベラレテ居ル、二國以上ト云フコトハ如何ナル場合ニ於テモ述ベラレテ居ラスノデアリマス、今日ハ先ツツレバ少シク増シテ二三國ト御述ベニナツタ、大シタ違ヒハナイ、チヨット倍ホドノ違デアルガ、別ニ問題トスベキホドハナイガ、段々少シ言葉ガ緩ンデ來ルヤウニ思ハレル、ツレカラシテ又其外ニ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル「併ナガラ其定率ガ外ノ國モ均霑スルト云フコトニナルト、ドウナルカ甚ダ日本ノ不利ニナルカモ知レヌ、ツレデサウ云フ恐アル國ニ對シテハ、絕對ニ協定ヲセヌ積リデアリマス」トサウ云フ

恐アル國ニ對シテモ、絶對ニ協定セスト云フコトハ、何レノ國ヲ見テ恐レルアルト見タノデア
ルカハ知ラヌガ、現ニ英國ノ如キハ所謂自由貿易主義ノ政策ヲ執リテ居リマスカラ、之ト
ハ協定ノ餘地ガナト明言セラレタ、其國ト何カ照應スルヤウニモ見エノデアリマス、故
ニ此英國ニ對シテハ依然昨年ノ如ク不協定ノ方針ヲ執リテ居ルカ、又他ノ歐米諸國ニ
對シテモ、ヤハリ一箇國ヲ除クノ外ハ一三箇國ニ對シテ協定セスト云フ方針ヲ、即チ昨年通りノ方針
年言ハレタニ一箇國ヲ除クノ外ハ一切協定セスト云フ方針ヲ、即チ昨年通りノ方針ヲ
執リテ居ラル、ヤ否ヤト云フコトハ、外交上ノ秘密モナシテモナシ、昨年明言セラレタコト
アル、今日モ亦明言セラレタ然レベキモノト考ヘル、尙一應念ノタメニ御説明ヲ求メ
イノデアリマス、併ナガラソレモ外交秘密ノ範圍内デアッテ、昨年ハ明言シタガ、今年ハ都
合ガアッテ一切明言セスト云フコトアレバ、本員ハ其點ニ付テハ默シテ退キマセウ、此點
ハ唯今御話ノ如クデ、ドウシテモ御答ハアリマセヌカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 尾崎君ノ御解釋通りデアリマス

○尾崎行雄君 要スルニ口ヲ開カヌト決心シテ居ラレモノト鑑定致シマシタ故ニ、此
點ハ重ネテ問ヒマス、次ニ御説明ヲ求メタイノハ、自由貿易主義ノ英國——外務
大臣ノ所謂自由貿易主義ノ英國ニ對シテ、向フノ關稅ヲ増加シナイト云フコトヲ條件
トシテ、我關稅ヲ輕減スル、即チ讓歩スル場合ニモ政府ハ之ヲ以テヤハリ雙務協定ト考
ヘテ居ラル、ヤ否ヤ、英吉利ハ申スマデモナク、自由貿易主義ノ有名ナル國デアッテ、今日
關稅改革派ガ起ッテ頻リニ盡力スルモ、尙其仲間ノ保守黨中ニスラ、自由貿易主
義ノ人ガ澤山アッテ、之ヲ選舉場裡ノ問題トシキラスホドニ、關稅改革論者ハ微弱ナル
狀態ニアリマス、故ニ既往及今日ニ於テモ自由貿易主義アルノミナラス、先ヅ將來ニ
於テモ當分此所何十年間ハ此方針ヲ變ズルコトハ容易ニ出來マイト見エホドノ自由
貿易主義ノ國デアル、其自由貿易主義ノ國ニ對シテオハ是ヨリ海關稅ヲ増シハシナ
イト云フコトヲ約束セヨ、即チ自由貿易主義ヲ變更シナイト云フコトヲ正確ニ約束セ
ヨ、サウスレバ此方ハ昨年議會ニ於テ決定シタル關稅輕減シテ、之ヲ低ク、シテオ
前ノ方ニ讓歩シテモ宜シト云フヤウナ談判ヲシテモ、是デモヤハリ政府ハサウ云フ場合ガ
アリ得ルト假定シテ、其時雖モ、片務協定ト考ヘテ居ルデアルカ、サウ云フ場合ハ雙
務協定ト考ヘラル、ノデアルカ誤解ヲ除クガタメニ喻フ以テ申シマスレバ、性來絶對ニ酒
嫌ヒノ人、其人ニ向ッテ貴様ガ酒ヲ飲マスト約束スレバ、此方デモ必要ナル飯ヲ絶對ニ
食ハスト云フ、之ヲ雙務協定デアルト云フ考フ有ッテ居ラレノデアルカ、此ノ如キ場合ニ
於テハ向フガコトヲ讓歩スルトセザルトニ拘ラス、自由貿易主義ヲ行ッテ行クノデアル故
ニ、此ノ如キ場合ニ於テハ雙務協定トハ言ヘナイト云フ御考ヲ持ッテ居ルカ否ヤト云フコ
トヲ、序ニ説明ヲ求メタイノデアリマス、何ゼナレバ外務大臣ハ絶對ニ稅權ヲ恢復スルノデ
アッテ、片務協定ハ少シモ痕跡ヲ留メヌヤウニスルト云フコトヲ、過日來既ニ此席ニ於テモ
二回説明セラレマシタ故ニ、此ノ如キ場合ニ於テハ如何ナル考ヲ持ッテ居ラル、ノデアルカ、
雙務協定ト見ルデアルカ、片務協定ト見ルデアルカト云フコトヲ御説明ヲ伺ッテ置キタ
イ、ソレニ關聯シテ若シ左様ナ場合ガ出來タスレバ、ソレヲ雙務ト見テモ、片務ト見テモ宜
シイガ、左様ナ場合ガ出來タト假定スレバ、サウ云フコト雖モ他ノ歐羅巴ノ條約國、將
來新條約ヲ結ベキ條約國ニ對シテモ、ヤハリ最惠國條款ハ存シテ置カレモノト思ハ
レマスガ、其最惠國條款ノタメニ是ニ均霑セララル、憂ハナイカ、英吉利ハ——是ハ假定
デアリマスガ、英吉利ハ海關稅ヲ將來増加シナイト云フ約束ヲナシ、日本ハ昨年議定
シタ關稅輕率、ソレニ對シテ讓歩シテ、英吉利ノ満足スル程度ニ讓歩シテ、而シテ約

束ヲ結シタキニハ、他ノ歐羅巴ノ諸國、米國ハ——南北米國ノ諸國ハ別モノトシテ、
歐羅巴ノ最惠國條款ヲ絶對無條件ノモノト見ル、此歐羅巴列國ノタメニ、其場合ニ
於テハ英吉利ト同様ニ輕イ協定稅率ニ均霑セラレテ、ヤハリ其恩惠ヲ他ノ列國モ受ケ
ルト云フコトニナルデアルカ、或ハサウ云フ場合ニ於テハ、最惠國條款ヲ適用セヌ
デアルカ、是ガ第二ニ御説明ヲ求メタイ點デアリマス、續イテモウツ問ヒタイノハ、英吉
利ト交渉現狀、即チ外務大臣ノ所謂極メテ順當ニ進行シタルト云フ、其交渉ノ
現狀ハ他ノ條約國ヲシテ談判ノ進行ヲ遲延セシメ、今年七月現行條約終了期マデ、
新條約ヲ締結スルコトガ出來ヌヤウナ結果ニナリハセヌカ、順當ニ進行シテ居ルト言ハ
レマスガ、如何ナル順當デモ宜シイガ、其順當ニ進行シテ居ルト云フガタメニ、他ノ條約國
ガアレバ傍觀シテ容易ニ談判ニ應ジナイデ、段々遲クナルガタメニ、結局條約終了期、即
チ本年七月新條約締結スルコトガ出來ナイト云フ結果ニ陥リハセヌカト云フコトヲ御
説明ヲ求メタイ、又ソレニ續イテ起ル問題ハ若シ新條約締結スルコトガ出來ナイト云
フ場合ニハ、現在ノ條約國ノ全部若クハ大部分ヲ舉ゲテ無條約國トナスト云フ譯ニ
ナルデアルカ、其全部若クハ大部分ヲ無條約國ニナスト云フ事柄ハ、政府ニ於テハ我國
ニ取ッテ利アッテ害ナク、無條約國デアッテモ利益コソアレ害ハナイト云フ見込ヲ持ッテ居
ラル、デアルカ、是モ序ニ問ウデ置キタイノデアリマス其三點ニ付テ御説明ヲ請ヒタイト思
ヒマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) ソレダケデアリマスガ

○尾崎行雄君 ソレダケデアリマスガ、御答ニ依ッテハ直ニ續イテ御問ヲ致サナケレバナ
リマセヌ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) ソレハ此處カラ御答致シマス

○尾崎行雄君 ドウザサウ願ヒタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 唯今尾崎君ノ御質問ニ對シマシテ、勢ヒ英國政
府トノ交渉内容ニ立入ラナケレバ十分ニ御満足ヲ與ヘルダケノ答辯ハ出來ヌト思ヒマス
カラ、是ハドウゾ適當ノ時機ニ達スルマデ御待ヲ願ヒタイ、而シテ稅率ヲ或國ト協定シタ
ル場合ニ、他ノ諸國ガ最惠國待遇ノ條款ノ作用ニ依リ、之ヲ均霑スルヤ否ヤト云フコ
トニ付キマシテハ、是ハ條約ニ據リ協定シタル稅率ニ付キマシテハ、日本ト其對手國ト
相互ニ此最惠待遇ニ依リ均霑スルコトニスル方針ヲ執ッテ居リマス、其方針ニ依ッテ
條約ガ出來マスレバ、無論相互ニ均霑スルコトニスルデアリマス、又今年七月ノ現
行條約終了期日マデニ、或ハ諸關係國トノ條約ヲ締結スルニ至ラズシテ、一時無條約
國ノ有様ニ陥リヤシナイカト云フ御懸念ノ點ヲ御尋ガアッタヤウデゴザイマス、最前述べ
マシタ通り政府ニ於キマシテハ成ルベク無條約國ノ狀態ノ生ゼンコトヲ避ケルタメニ、出來
得ル限リ條約ヲ締結シ努ムル覺悟デハゴザイマスケレドモ、通商條約ヲ廢棄致シタ場合
ニ於テハ其廢棄シタル條約ノ終了期日マデニ、必ズ新條約ヲ締結スルコトヲ云フ請合ハ付
カヌノデゴザイマス、若シ對手國ガ我ニ向ッテ不利ナル要求ヲ致シマスレバ、改正談判ガ
長引クカモ知レマセヌカラ、其期日マデニ必ズ新條約ヲ締結ガ出來ルト云フ請合ハ付カ
ヌノデゴザイマス、是ハ最初現行條約ノ廢棄ト云フコトニ決定致シマシタキニ、既ニ其
覺悟ガナケレバナラヌノデゴザイマス、從ッテ政府ニ於テハ固ヨリ現行條約ノ終了ト、新
條約ノ實施ノ間ニ成ルベク間缺ノ生ゼンコトヲ避ケルコトヲ希望致シマスカラ、出來
ルダケ努力ハ致シマスガ、併ナガラ如何ナル新條約デモ、新條約ガ如何ニ不利ナ條約デ
モ、之ヲ締結スルト云フコトハ出來ヌノデゴザイマスルカラ、或ハ或國トハ一時無條約

ト云フ關係ニナルカモ知レマセヌカラ、此事ハ述ベテ置キマス、ソレカラモウ一ツ何カゴザイマシタカ

○尾崎行雄君 英國トノ談判ノ今日ノ狀況ノタメニ、他ノ列國トノ談判ガ餘程遷延シハシナイカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) ソレハ最初モ申シマシタ通り、既ニ英國以外ノ國ニ於キマシテモ我提案ニ對シテ、修正案ヲ出シテ居ル國モゴザイマス、其愛ハ先ヅアリマセヌト思ヒマス

○尾崎行雄君 サウ致シマスルト、此或ル條件ノ下ニ我レガ關稅率ヲ輕減スル、即チ相互條約ノ結果トシテ我ニ對シテ低イ海關稅ノ約束ヲ結ビマスルト、他ノ歐羅巴列國ハ無條件ニシテ、ソレニ總テ均霑スルコトガ出來ルト云フ御考ナノゴザイマスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 其通り申上ケマシタ、其代リ我レモ均霑致シマス、是ハ御互テゴザイマス

○尾崎行雄君 無論ノコトデアリマス——此上承ツタコロデ到底満足ノ答辯ヲ得ヤウトハ考ヘマセヌガ故ニ、敢テ説明ハ求メマセヌガ、此全體ノ談判進行ノ現況ハ外務大臣ハ極メ順當ナリト言ハレテ居リマスガ、本員ニ於テハ其順當ナルコトニ付テ聊カ杞憂ヲ抱クコトハ前段述べタ通りデアリマス、現ニ英吉利ノ外務大臣ノ演説ニ付テ見テモ、溫厚篤實ナル英國紳士ノ模範トモ言ハレテ居ルコロノ現在ノ英國外務大臣、若シ非難ノ方ヲ舉ゲレバ餘リ方略ノ用井ヤウガ少ナ過ギルト云フ非難スラ受ケテ居ルコロノ英國ノ外務大臣デスマモ、倫敦ヲ初メテ諸商業會議所ノ委員ニ對シテハ、若モ今日ノ如キ進行ヲ致シテ此國定稅率ヲ——英吉利ニ不利ナル國定稅率ヲ其儘適用スルト云フコトニナリマス、已ムヲ得ズ政治上ノ關係モ從ツテ破壞セラレ、ニ至ルカモ知レヌト云フコトヲ明言シテ居リマス、又其コトヲハ綠返シテ此談判ノ結果ハ必ズ政治上ノ關係ニ及ブト云フコトヲ一回マデモ綠返シテ外務大臣ハ公然演説ヲ致シテ居リマス、餘リ策略ノタメニ鬼面嚇兒ノ手段ヲ用井ナイト云フ結果、非難ヲ受ケテ居ル程ノ外務大臣デスマモ、一回マデモ公然ト政治上ノ關係ニ及ブト云フコトヲ明言シテ居ルデアリマス、故ニ之ニ對シテ我國ガ初メニシテハ絕對ニ交渉、即チ稅率ハ協定シナイト云フ方針ヲ採ラテ進ミ、今日ハ明言セラレナイガ故ニ、確トハ申案ネマスルケレドモ、既ニ其方針ヲ一變シテ協定ノ方針ヲ以テ進ンデ居ラレバヤウニ見エヌル、即チ海關稅率モ談判交渉ノ一部分ニ加ヘテ、目下交渉セラレテ、居ラレバヤウニ見エヌル、此事ハイザレ數箇月ヲ出デスシテ、直ニ明カニナルコトデアリマスウガ、免ニ角本員等ニ於テサウ推測セラレ、此ノ如キ結果ヲ初メヨリ見ル能ハズシテ、昨年ハ輕キト手ヲ著ケラレテ、中途ニシテ之ヲ改メタモノデアルカ、或ハ始メヨリ此ノ如キ變化ヲ豫期シテ、豫定ノ行動ヲ今日ハ採ラレタモノデアルカ、何レニシテモ十分ノ説明ヲ求メザレバ本員等ノ解スル能ハサルコトデアリマスガ此ノ事ハ説明セラレヌトアル以上ハ已ムヲ得ヌト默シテ退クノ外ハゴザイマセヌ、併ナガラ何レニシテモ事極メテ重大デ、罷り問違ヘバ日英同盟ノ基礎ヲ搖撼スルト云フホドノ結果ヲ生セントシ、又將來生ズルカモ知レナイ問題デアリマスガ故ニ、希望スルトコロノコトハ外務大臣ノ明言セラレ、ガ如キ順當ナル進行ガ、一日モ早ク發表セラレテ、我同胞兄弟ヲシテ、安ンジテ枕ニ就クコトノ出來ルヤウニ進メラレナイデアリマス、抑、此列國關係ノ近狀ニ於テ、外務大臣及總理大臣ハ、非常ニ良好ニ進行シツ、アルト云フコトハ、大層輕ク申サレマスケレドモ、本員等ノ見ルトコロニ依レバ、決シテ兩大臣等ノ言ハル、如ク、輕キニ看過スヘキ事態デハナイト思フデアリマス、昨年モ既ニ一言述ベテ置キマシタガ、滿洲鐵道

中立問題ノ處置振ノタメニ、一方ニ於テハ米國ノ精疑心ヲ喚起シ一方ニ於テハ鄰國支那ノ疑感ヲ大ニ助長シタト云フコトハ、顯然昭々歷々掩フベカラザル事實ガ今日ニ至ッテ益々明確ニナリテ來タデアリマス、而シテドラニ向イテモ宜シト云フコトハ是ハ殆ドチラヲ向イテモ極メテ困難ナル地位ニ帝國ハ陷レテ居ルノデ、其陷タ原因ニ付テハ、現内閣モ亦大ニ其主トシテ其責ニ任ゼナケレバナラヌト云フ狀態デアルデアリマス、故ニ願クハサウ輕シク外交上ノコトヲ如何ニモ、四面皆春、何レヲ見テモ花ノミ咲イテ居ルガ如キ御説明ヲ以テ議場ヲ囁過スルヤウナ手段ヲ採ラレザランコトヲ希望シテ、今日ハ強テ窮追ハ致サズ説明ヲ求メズニ置キマス

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 佐々木安五郎君

(佐々木安五郎君登壇)

○佐々木安五郎君 一昨日總理大臣ノ施政ノ方針ノ演説ノ中ニ、國交ハ益々親善ヲ加ヘト云フ言葉ガアッタ、然ルニ現時ノ狀態ヲ見ルト、亞米利加、濠洲、非律賓、殊ニ二千年來善鄰ノ國トシテアルコロノ支那ノ方面、其支那ノ方面マデモ、排日ノ熱ガ盛ンニ起ッテ居ル、其排日ノ熱即チ日本ヲ疎外スルト云フ熱ガ各所ニ溢レテ居ルニ拘ハラズ、之ヲ目シテ親善ト云フノハドウ云フ意味デアルカ、明瞭ナル御回答ヲ仰ギタイト云フコトヲ申込ダガ寂シテ聲ナシ、或ハ想フ、總理大臣ガ原稿ガナケレバ演説ガナラヌト云フヤウナ譯デ、其時ハ草稿ガナカッタカラ演説ハサレナカッタカモ知レヌ、今日ハ幸ニ外務大臣ガ外交ノ方針ト云フモノヲ御演説ニナルノヲ見ルト、總理大臣ノ施政ノ方針ノ朗讀演説ヨリカ、餘程手際ガ宜イ、總理大臣ノ演説ガ朗讀演説ナラバ、外務大臣ノ今日ノ演説ノ口調ハ暗誦演説トモ云フベキモノデアル、實ニ流暢ナモノデアル、然ラバ原稿ガ無イトモ返事ガ出來ルモノデアラウト私ハ推測スル、茲ニ此壇上ニ顯レテ、一昨日御問申シタトコロノ御答ヲ明瞭ニシテ、貫ヒタイト云フコトヲ希望スル譯デアリマスガ、此答ヲ促スニ先ツ議長ニモチヨツ注友ガアル、元來議員ガ質問ヲ發シテ、大臣ノ答辯ヲ促スニ當ッテ、大臣ガ答辯ヲセヌト云フノハドウ云フ譯デ、セヌト云フコトヲ其儘ニ看過シテ置ケバ、佐々木安五郎一人ガ蔑視サレタ譯デアナイ、衆議院全體ガ國務大臣ニ蔑視サレタト云フ譯デアル(拍手起ル)(「ノウ」ト呼フ者アリ)「ノウ」ナラサウ云フノハ屈辱ヲ甘ズルトコロノ人間デアルカラノウ(ト云フノデアル)(拍手起ル)屈辱議員デア、吾輩ガ演説スルノミナラズ、政友會ノ連中カラモ演説シテ答辯ヲ得テ居ナイデアナイカ、無所屬ノ方カラモアル、唯無イハ中央俱樂部ノ方デケアル、アトハ皆アッタ、而モ一ツモ演説ノ答ヲセヌ、セヌノヲ追窮スルト云フト、佐々木君ノ聲ハ太イカラ聽エテ居ル皆デア、答辯ガナイカラセナイデアラウ、サウ云フヤウナコトヲ言ハレバ、是ハ議長自カラガ衆議院ガ受ケタルトコロノ侮辱ヲ甘ンジテ受ケラル、趣意デアルカ、ドウデアルカ(拍手起ル)元來議事規則ノ精神カラ讀ンデ見テモ、議事規則ニハ何トアル、國務大臣ガ答辯ヲシテ、其答辯ガ要領ヲ得ザルトキハ、更ニ答辯ヲ促スコトガ出來ルト云フマデ、議員ガ發言權ヲ重ンジテアルデアナイカ、答辯ヲシナケレバシナクテモ宜イ、知ラヌ顏ヲシテ宜シ、議長ハ之ヲ取次ヲシテ、催促ヲシテモシナクテモ宜イト云フコトハ、議事規則ノ第何條ヲ見テモ一ツモ書イテナイ、答辯ヲセヌケレバ何故ニセヌカト云フコトヲ議長ガ問ニ立ッテ催促スベキモノデア、ソレガタメニ議長ト云フモノガ、議場ニ設ケラレテアルノデア、議員ガ相互ニ問答スルコトハ、議事規則ニ許シナイ、説明者ト質問者ト勝手ニ言語ヲ交ヘルコト

ハ許シテナイ、必ズ議長ヲ通シテ催促スベキモノハシ、督促スベキモノハスルヤウニナッテ居ル、然ルニモ拘ハラズ、吾輩が再三再四大キナ聲ヲ張上ケテ催促シテモ知ラヌ顏ヲシテ居ル、一番シマヒニ君ノ聲ハ、太イカラ聴エテ居ル皆アル聴エテ居ル皆アル、聴エテ居ル皆アル皆答辯ハナイノハ答辯ガナイノデアラウ、返事ガ無いカラ問フノアル、何故返事ヲセザルカ、是ハ更ニ今日議長ニ請求スル(笑聲起ル)議長ヲ通シテ返答ナサシムコトヲ希望スル、返答ノナイ間ハ、吾輩ハ演壇ヲ降ラヌ、議員ノ發言權ヲ尊重スル所以デアル

○議長(長谷場純孝君) 一言辯シテ置キマス、議院法ニモ衆議院規則ニモ、議長ハ答辯ヲ強ユル權アリマセヌ、併ナカラ今改メテ佐々木安五郎君ガ議長カラ取次イデト云フ請求ガゴザイマスカラ、ソレハ政府ニ通告ハ致シマス

○佐々木安五郎君 シテ貫ヒマセウ

(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ(笑聲起ル)」

○議長(長谷場純孝君) 政府ハ答辯シナイト云フ答辯ガアリマシタ

○佐々木安五郎君 答辯シナイト云フ理由ヲ示シテ貫ヒタイ、答辯シナケレバ答辯シナイト云フ理由ヲ示スベキモノデアル、答辯シナイデハ濟マナイ、何故ニシナイ、スル能ハザル故ニシナイ理由ガアル、其理由ヲ示シテ貫ヒタイ、答辯シナイ理由ヲ示シテ貫ヒタイ、ソレハ當リ前デ、議院規則ニアルダケ請求スル

(藏原惟郭君「ドウデス答辯シテハ、議場ノタメニ答辯スベシ、簡單ニ」ト呼ビ笑聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 質問ノ規程ニ依ッテ質問スルノニ對シテハ、相當ノ規程ガアリマスカ、説明ヲ求メルコトニ對シテハ別ニ規程ガアリマセヌ、ソレデ佐々木君ノ唯今發言ヲ請求サレタノハ、今日ノ外務大臣ノ演說ニ對シテ説明ヲ求メルト云フコトニ議長ハ承知シテ居タ、(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ」ソレデ一昨日ノ説明ニ對シテ御質問ナレバ、ソレハ後日ニ回ハサレテ、此場合ニハ先ヅ外務大臣ノ唯今ノ演說ニ對シテノ説明ヲ求メラレバ相當デアル、之ニ對シテ發言ヲ許シタ

○佐々木安五郎君 唯今ノ演說ハ、國交ハ益々敦厚ニ趣クト言ハレテ居ル、親善ト云フ文字ヲ敦厚ト換ヘラレタダケデ、意味ハ同ジコトデアル、敦厚ナレバ、ドウ云フ譯デ排日熱ガ起ッテ居ルカト云フコトヲ改メテ質問ヲ致ス、質問ガ出來ヌナラバ、質問スル能ハスト云フコトヲ云ハレルナラバ、直ニ演壇ヲ降ル、ソレハ質問スルコトガ出來ヌ、質問シナイト云ハバ、發言權ニ係ルハ、吾輩一人ノタメデハナイ、立憲政治ノ大事デアル、立憲政體ヲ擁護スルノデアル、倒レテモ立憲政治ヲ擁護スルノデアル、吾輩一人ノタメデハナイ、議員ノ一人ニ質問ガ出來ヌナラバ出來ヌデ兜ヲ脱ガ宜イ、答辯スルコト出來ヌナラ出來ヌト兜ヲ脱ガ宜イ(「ノウ」)「ト呼フ者アリ」分ラヌコトヲ云フナ、オ互ノ身ノ上ダヨ、何ヲ云フ(拍手スル者アリ、笑聲起ル)

(藏原惟郭君「議長、紹介ノ勞ヲ採ルベシ」)「簡單ニ答辯シテハドウデス」ト呼フ者アリ)

○外務大臣(伯耆小村壽太郎君) 議長

○議長(長谷場純孝君) 外務大臣

○外務大臣(伯耆小村壽太郎君) 唯今御質問ノ次第ハ、列國ト帝國トノ關係ガ敦厚デアル、然ルニ各方面ニ於テ排日運動ガアル、ソレデモ敦厚ト云ヘルカ、ト斯ウ云フ御趣意デアリマスカ

○佐々木安五郎君 左様、其答辯デス

○議長(長谷場純孝君) 私語ハ許シマセヌ、其返答ヲ今促シテ居ル

○外務大臣(伯耆小村壽太郎君) 唯今ノ御質問ニ一言御答致シマス、先刻本院ニ向テ、帝國ト列國トノ關係ガ年ヲ逐ウテ益々敦厚デアルト云フコトヲ確ニ申上ゲマシタ、政府ノ見ルトコロハ其通りデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○佐々木安五郎君 ソレハ連モ話ニナリマセヌ、更ニ日ヲ變ヘテ改メテ質問致シマス(笑聲起リ拍手スル者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 守屋此助君ハ議場整理ノ點ニ付テ發言ヲ求メマシタ、即チ是ハ先決問題デアリマスカラ、發言ヲ守屋君ニ許シマス

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君 滿場ノ諸君、吾輩ニ姑ク議場整理ノコトニ付テ發言ノ權ヲ與ヘラレヨ、帝國議會ハ回ヲ重ヌルコト二十七回、開會ノ度毎ニ 聖天子ノ賜ハリシ勅語ニ何ントアル、慎重審議以テ朕カ望ミニ副ヘヨト斯様ナ勅語ハ、毎々吾々ハ拜誦シテ居リマス、議會ノ奉答友ハ何ト諸君答ヘテ居ル、(「ナシ」)要領ヲ云ヘト呼フ者アリ「慎重審議以テ上ハ 聖旨ニ對ヘ奉ル」ト斯ヤウニ吾々ハ御答致シテ居ルデハナイカ、事苟モ國政ヲ吾々ガ議シテ、協贊ノ任ヲ盡サントスルコトニ當ッテ、事ニ疑ガアルコトニナッテ之ヲ質スノデアル 質スノデアル、此質ス事柄ニ付テ之ヲ質シテ往クノハ、慎重審議スルノデアル 慎重審議スルノデアル、時ノ内閣諸公ハ此吾々ガ上 聖旨ニ對ヘ奉ルト云フ事柄ニ付テ慎重審議御答 協贊ノ任務ヲ竭シマセウト云フ此任務ヲ盡サントスルニ當ッテ、之ヲ阻礙スル人デアル、(「ヨセ」)「大ニ我意ヲ得タリ」ト呼フ者アリ、笑聲起ル(是ハ唯一人ノ 唯一人ノ議員佐々木安五郎ノ權利ノ消長デハナイト云ハレタダ、如何ニモ其通りデアル、國家ノ議權ヲ消長デアル、國家ノ國政ノ消長ニ關係ガアル、サウデアリマセウ、疑ハシキモノヲ其儘ニ議スト云フ事柄ハ、此位不親切ノ政治ガアラウカ、(拍手スル者アリ)疑ハシキモノヲ質スノデアル、質ストキニ向ッテ無學ノ者ガ往々世間ニ斯ヤウナ馬鹿ヲ云フ人ガアル、何デアル、其事柄ハ答辯スル必要モナイト云フコトヲ能ク問ハレタ人ガ云フ人ガアル、此人ハ餘程自己ガ無學ダト云フコトヲ證據立テル人デアル、何ゼナラバ問答ト云フモノハ問フ人ノタメニ問フノデアル、問フ人ガ疑ハシイカラ、問フノデアル、問ハレタ人ハ此事ニ付テ答ヘル必要不要ト云フ事柄ヲ云フ權利ハナイノデアル、少シク物ヲ知ッタ人ハ左様ニ感ゼネバナラヌデアル、然ルトコロ自分ガ窮シテ來ルトドウデアアル、答フル能ハヌトキニ答ヘル必要ナシト、狡猾ナコトヲ云ッテ自己ガ物ヲ知ラナイ馬鹿物ダト云フコトヲ證據立テル人ガ往々アル、吾々ハ疑ハシキモノハ親切ニ問フノガ、上ハ 聖旨ヲ奉體スル所以デアル、又一面ニハ吾々ハ疑ハシキモノヲ問フト云フハ、憲法議院法ノ與ヘテ居ル權利デアル、一面ニハ議院法、憲法吾々ニ命ズル義務デアル、何ゼ義務デアルナラバ、疑ハシキモノヲ其儘ニ議シテ往ク、是ハ職權ノ議ガアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ當ッテ、私共ハ一昨日デゴザイマシタガ、此施政ノ大方針ノ御演說ノアルトキニ向ッテ、如何ニモ疑ハシク思ウタ、内閣諸公ガ議會ヲ輕蔑ナサル、事柄ニ付テ、之ニ憤懣スルト云フ事柄ハマダノ 少々是ハ私憤ト云フテ宜カラウ、私憤デハナイカモ知レヌ、併ナガラ國家ヲ親切ニ思フコトニ付テノ公憤ニ於テハ、私ハ此事柄ヲ上御一人ガ御覽ニナッタナラバ如何ニ感シ給フカ、是ガ親切ナル國政ヲ料理スルト云フ事柄ニ付テ國務大臣ノ仕方ト見ラレマセウカ

○議長(長谷場純孝君) 成ルベク要領ヲ……

○守屋此助君 宜シウゴザイマス、是ハ大切ナ問題デアリマスカラ、私ハ慎重ニ言ヒヨ
ルノデアアル、サウデアリマスカラ、此議院法ニモ何トアルカト云フト、質問書ヲ出シタキ
ニハ答辯スル能ハザルトキハ、答辯スル能ハザル理由ヲ答辯シロト斯ウ書イテアル、答辯
ヲナス能ハザルトキハ、答辯ヲナス能ハザル理由ヲ答辯セヨ、是ガチヤアント日本ノ議院法
ノ命ズトコロデアアル、内閣ニ向ッテ命ズルトコロデアアル、其故ニ内閣諸公ハ答フル能ハザル
トキニハ、答フル能ハザルコトヲ必ズ云フト云フコトヲ法ヲ御持チニナルガ至當デアアル、ソコ
ノ議場整理トシテ、ソレダケノ譯合デアアルカラ、決定ハ私ガ申スノハドウデアアル、議長
ガ先刻云ハレタノハ如何ニモ私ハ腑ニ落チヌ、議長ト云フモノハ、議場整理ノ中ニ、甲ノ
人ガ問ウテ、乙ノ人ガ答スベキ人ニ向ッテ、乙ナル人ニ向ッテ、アナタ答スルカシナ
イカ、斯ウ云フ事柄ヲ云フト云フ職責ハナイト云フ御見解デアアル、私ハ議場整理ノ人ハ
ソレダケノコトヲ言フベキ職責アリト考ヘル、ソレダ答フシマスカシマセカトカ、サウデナ
イト言フト議場ノ秩序ト云フトハ立タヌデアアル、ソレデアアルカラ、此事柄ニ付テハ、一ツノ
問答ガ出來ルト其事ニ付テ答フシナケレバ答ハスクノコトデアアル、出來マセヌト云フト、其
問答ガ濟シマフデアアル、サウデナイト云フト私ハ議場ノ整理ト云フ事柄ガ付イテ居
ラヌト思フ、ソレカラ此帝國議會ト云フモノガ、日本全國ノ政治ノ最高等ノ議事堂デア
アル、此處デ模範ヲ示サヌカラ、日本全國ノ縣會デ知事ハ原案執行ヲスルノガ、斯ウ云
フ事柄ガ一ノ因デアアル、必ズヤ、内閣諸公トシテモ親切ニ答フサルベシ、又議長トシテハ同
議會同士ノ問答デモ、亦然リ、政府ニ向ッテ問答デモ亦然リ、必ズサウ云フ順序ニ
シテ欲シイト云フコトガ私ノ希望デ、是ダケノ事柄ハ議場整理ニ付テノ意見トシテ、申上
ゲテ置キマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 一言辯シテ置キマス、唯今議場整理ノコトヲ守屋君カラ
縷々御述ベニナリマシタガ、守屋君ノ今御述ベノ通り、議長ハ慣例ニ依ッテ計ラヒツ、ア
ルノデアアル、一昨日ハ屢々答辯ヲ促サレ、議長ハ答辯ノアルモノト心得テ居ツタケレドモ、
答辯ガナシ、ソレデ低聲ニシテ若シ答辯スル人ノ耳ニ其趣意ガ入ラナイトスレバ、議長
ガ中間ニ立ッテ紹介スルノガ當然デアアル、是マデシタコトガ度デアアル、一昨日ノ説明ヲ求
メラレル聲ハ大キクシテ、趣意ハ明カデアツタカラ、閣臣ノ耳ニ入ラナイコトハナシ、暫ク經
テ答辯ガナイカラシテ、答辯ハナイデアアラウト云フト言ツタ、今日ハ現ニ守屋君ノ言ハ
レタ通り、議長ガ中間ニ立ッテ其答辯ヲ請求サレタカラ、其通り取計ラツタ、是ハ即チ慣
例ニ依ッテ議長ハ其通り計ラヒツ、アリ尙將來ニ於テモ議場整理ノタメニ其通り計ラヒ
マスカラ、守屋君ハ其邊ハ御安心ニナッテ宜イコト、存ジマス

(藏原惟郭君登壇)

○藏原惟郭君 私ハ此議會ニ於テハ極メテ新參デアアル、又此度萬國議員會議ニ列
席シタ中ニ於テモ極メテ新參ニ歸ツタ者デアリマスカラ、今日ハ實ハ控ヘテ居ツタノデアリ
マス、併シ一言、外務大臣ガ折角病ヲ力メテ御出席ニナッテ居リマスカラ、御辯明ヲ求
ムルノ光榮ヲ得タイト存ジマス、外務大臣ハ親切ニ御答下サルコトヲ私ハ豫期シテ居ル、
何トナレバ私ノ説明ヲ求ムルトコロノモノハ事實デ、又穩當デアアルガ故デアリマス、外務大
臣ハ日英博覽會ノコトニ言フ及ボサレマシテ、日英博覽會ノ最モ成功ヲ諸君ニ向ッテ
宣明セラレタコトハ事實デアリマス、併ナガラ遺憾ナガラ我々ガ日英博覽會ニ臨ミ、
且又私ノ如キハ五箇月間英國ニ滞在シテ日英博覽會ニ關係アル内外ノ人ニ親シク
接シテ得タルトコロノコト、自分ガ觀察シタルトコロノコト、外務大臣ガ今日此公ケノ席

ニ於テ説明サレタルトコロノコトハ、マルデ天地ノ相違アルコトヲ私ハ悲ムモノデアリマス、
何故デアアルカ、其實況ヲ少シク述ベサセラレンコトヲ希望スル、日英博覽會ノ實況ハ、實
ニ慘澹タルモノデアリマス、例ヘバ英國政府ガ出品シタルトコロハ、其出品ハ教育部ニ關ス
ルコト、海陸軍ニ關スルトコロノモノガ一小部分デアアル、是モ日本政府ニ對スル餘儀ナ
イトコロヨリシテ、出品ヲシタルトコロハ、私ハ此博覽會ニ關係アルトコロノ人ミカラ聞
及ンダノデアアル、又英國ノ有力ナル實業家アタリカラモ之ヲ聞及ンダノデアリマス、實ハ日
本政府ノ要求ニ依ッテ、之ヲ爲シタルデアアル、私ハ大ニ怪シク何故ニ英國政府ハ、又英
國實業家ハ此博覽會ニ向ッテ好意ヲ表シ、又全力ヲ擧ゲテ、此博覽會ノ成功ニ協力
ヲ與メデアラウカト思フタ、所ガ此博覽會ハ英國實業家、竝ニ英國政府トハ何等ノ關
係ハ無イモノデアアルト云フコトヲ明言シタルデアアル、明言スルモノハ一二ニシテ止ラヌ
デアリマス、英國ノ上下ニ互ッテ此ノ如ク明言シテ居ルノデアリマス(小寺謙吉君「加
藤大使モ明言シテ居リマス」呼フ)加藤大使モ、小寺君モ言ハレル通り明言シテ居リマ
ス、ソコデは何故デアアルカト云フトコトヲ段々調ベテ見ルト、日本政府ガ當初多分此所ニ
御列席ニナッテ居タルトコロノ小村大臣ガ、大使ニナッテ英國ニ居ラレルトキデアラウト思フ、小
村大臣ハ其當時自ラヲ以テカ若クハ其書記官ヲ以テ此御契約ガアツタ、日英博覽會
ノ御契約ガアツタ、其御契約ハ誰トシタカト云フト、即チ「キラルフ井」ナル猶太人ト
契約デアツタ此「キラルフ井」ノ人トナリハ如何ナル人デアアルカト云フト、猶太人デア
ル猶太人ト雖モ、實ニ善人ガアル、又實ニ猶太人ニ於テハ非常ニ歎美スベキ資質ガアル
コトヲ常ニ私ハ認メテ居ル、總テノ人ガ猶太人ニ對シテ反感情ヲ有シテ居ルコトヲ私ハ
憤ッテ居ル者デアアル、故ニ決シテ「キラルフ井」ガ猶太人デアアルガ故ニ、私ハ彼是申スノ
デアナイ、然レドモ此「キラルフ井」ト云フ人ハ我政府ガ信ズルヨリモ偉大ナル山師デア
ルデアリマス、極メテ惡評判ノアル興業師デアアルデアリマス、此興業師ト契約ヲシタルト云
フトコトハ事實デアアル、而シテ此興業專門ノ「キラルフ井」ハ英國ノ專門辯護士數名備
テ契約ノ條文ヲ作ツタデアアル、然レニ我政府ノ當局者ニ於テハ、一人ノ辯護士ヲモ備
ハズシテ直ニ辯護士ト此大切ナル契約即チ日英博覽會ノ條約ヲ結ンダト云フト、私ハ
彼地ニ於テ各方面カラ發見シタルデアリマス、小村大臣ハ之ニ付テハ其當時局ニ當ラレ
タデアラウカラ、必ズ私ヨリモ尙能ク知ツテ居ラル、コト、思フ、私ハ此契約ノ條文ニ付
テモ、此契約ヲ爲サレタルトコロノ其實際成行ニ付テモ、小村大臣ノ明カナル辯明ヲ願
フ者デアリマス、而シテ此「キラルフ井」ニ對スル英國人民一般ノ感情ハ如何デアリマス
英國殊ニ倫敦ニ於テハ六百萬ノ人口ガアルケレドモ、「キラルフ井」ニ同情ヲ表スル者ハ
殆ド居ラヌト云フモ宜イヤウナ事實デアアルデアリマス、何故ニサウデアアルカ、當テ「キラル
フ井」ガ英佛博覽會ヲ催シタ時分ニ、彼ハ總テニ於テ好策ヲ弄シ、彼ハ總テニ於テ悖
德ノ行爲ヲ爲シテ、其結果英佛博覽會ニ對スル後始末ニ付テハ百八十件以上ノ訴訟
ヲ提出サレタ人間デアアルデアリマス、百八十件以上ノ訴訟ガ今日モ續々出テ來居ルデ
ナイカ、現ニ吾々ガ英國ニ在ル時分ニモ、幾ド二十何件ノ訴ヲ受ケテ、裁判ニ持出シテ
「キラルフ井」ハ一々敗訴ニナッテ居ルデハナイカ、佛蘭西ニ行ツテ「キラルフ井」ノコトヲ
聽イテ御覽ナサイ、「キラルフ井」ノ肉ヲ啗ハズンバ佛蘭西ノ國民ハ殊ニ巴里ノ實業家ハ
止マヌト云フヤウナ憤慨ヲ今日モ有シテ居ルノデアリマス、是ハ私ガ佛蘭西ニ於テモ
佛蘭西巴里ヘ私ハ二度行ツテ、此事ニ付テハ數々聞及ンダ、又殊ニ日英博覽會ヲ觀察
シタルトコロノ佛蘭西ノ美術家、實業家カラモ此事ヲ聞イテ居ルノデアリマス、其故ニ決シ

テ私ハ茲ニ是等ノコトニ付テ、過大ニ云フベキコトハナイコトハ諸君ガ承知セラル、デアラ
ウト思フ、而シテ「キラルフ井」ニ對スルコロノ一般ノ惡感情ト云フモノガ、確ニ日英博
覽會ニ對スルコロノ英國人民ノ熱心ヲ缺イタノデアリマス、而シテ英國政府ハ之ニ對
シテ實ニ冷淡ナル、吾々ハ各英國ノ大臣中ニ於テモ、二三名ノ特別ナル惡親ヲ結ブコ
トヲ得タノデアル、此惡親ヲ結ンダ各大臣ニ、日英博覽會ノコトヲ聽クト、決シテ自分等
ニ此事ヲ問ウテ吳レルナト依頼スルノデアル、問ヘバ何トカ答ヘナケレバナラス、答ヘルニ
付テハ吾々ノ感情ヲ害セバナラヌコトヲ云ハナケレバナラスト云フコトデ、各大臣共ニ此問
題ガ出ル毎ニ外ラシテ、若クバ他ヲ云ウテ若クバ目ノ當リ斷リテ此問題ヲ避ケンコトヲ
努メテ居ルト云フコトハ、如何ナルコトデアリマス、英國政府ハ最モ此日英博覽會ニ付
テハ實際上冷淡ナル、併シ是ハ善意ノ意味ニ於テ冷淡ナル、殊ニ英國ニ於テ實業家
ノ團體ノ分ガ、此日英博覽會ニ對シテ云フコトヲ聞クニ、ナゼ日本政府ハ吾々英國ノ主
モナル實業ニ諸ラナイノカ、殊ニ商業會議所ニ諸ラナイノカ、ナゼ是等ヲ相談對手トシ、
是等ヲ顧問トシテ此日英博覽會ノ契約ヲサナカッタノデアルカ、何故ニ彼ノ「キラルフ
井」ト共ニ法律顧問ヲ用井ズ、此契約ヲ結ンダノデアルカ、此ノ如キハ、日本ノタメニ實
ニ悲ムベキコトデアル、殊ニ或ル實業家ノ一人ハ、私ニ私語シテ云フニ日本ハ常ニ金ガ無
イ、金ガ無イト云フコトヲ云テ居ルデハナイカ、而シテ二百萬圓ニ近イ金ガアルナラバ、此
博覽會ヨリモ他ニ貢イコトガ出來ルデハナイカ、何故ニ一猶太人ト日本政府ガ全力ヲ
舉ゲテ提携シテ、日英博覽會ノ名ノ下ニ、此ノ如キ興業ノ博覽會ヲ催スカ、如何ニモ金
ガ無イ金ガ無イト云フケレドモ、サウ云フ餘計ナ金ガアルデハナイカト、私ニ私語シテ親切
ニ注意ヲ與ヘタ一人ガアルデアル、是等ハ英國實業家ノ一般ニ有シテ居ルトコロノ觀
念デアリマス、日本政府ハ何故ニ此英國實業家ニ諸ラズシテ、又若シ諸ラナラバ、如何
ナル方法ヲ採ッタカ、如何ナル交渉ヲ遂ゲタノデアルカ、又誰ト共事ヲ諸ラタノデアルカ、
其等モ私ハ拜聞シタイノデアル、是ハ大浦農商務大臣ガ吾々ト同時ニ英國ニ居ラレタカ
ラ、御承知デアラウト思フ、此日英博覽會ノ不成功ハ、大浦大臣ガ歸ラレテ、日英博覽
會ノコトニ付テ御演說ニナッタコトヲ、私ハ或ル新聞デ彼ノ國見タケレドモ、大浦大臣ノ
云ハレタコトハドウモ私ハ事實ニ反スルコトヲ——今日目ノ當リ、大浦大臣ノ御馳走ハ
二度ハカリ彼地デ受ケタケレドモ、云ハザラ得ナイ、併シ大浦農商務大臣ガ當時英國ヘ
來ラレタノハ、實ニ幸ヒデアッタ、吾々甚ダ意ヲ強ウシタ、何トナレバ此日英博覽會ハ實ニ大
浦農商務大臣ガ來ラル、マデハ實ニ不幸ノ有様デアッタノデアル、ソレハ何デアルカト云
フト、例ヘバ日本政府ガ非常ニ勸誘シテ彼ノ博覽會ニ出品スベキコトコロノ國寶、美術
上ノ國寶、非常ニ日本帝國國民ニ取テハ重大ナル國寶トシテ我領域ヨリ他ニ出スコトス
ラ禁物デアル、此國寶ヲ陳列スルコトニナッタノデアル、併ナガラ此國寶ヲ陳列スルコト
ニ付テ、適當ナル場所ヲ「キラルフ井」ハ與ヘナカッタノデアリマス、幾度モ此博覽會ニ從
事シテ居ル役人殊ニ國寶ヲ監督シテ往イタコロノ正木美術學校長其他ハドノ位苦
心ヲシテ「キラルフ井」ト交渉ヲ重ネテモ適當ナル國寶ヲ陳列スベキ場所ヲ此日英博覽
會ノ大建築ノ内ニ與ヘナイノデアル、偶々與ヘタトコロガ、ドウデアルカト云フト、上カラ雨ガ
漏ル所ヲ與ヘタノデアル、國寶ヲ陳列スル處ニ雨ヲ漏ラス、雨ノ漏ル處ヲ與ヘ、終ニ國寶
ヲ監督シテ往ッタ此當局者ソレ等ハ非常ニ憤慨シテ悉ク此國寶ヲ又包ンデシマッテ、箱ニ

入レテシマッテ、ソレヲ持ッテ日本ニ歸ラウトシタノデアリマス、憤慨ノ餘リ即チ國寶ヲ日本
ニ積戻スト云フコトニ談判ハ破裂シテシマッタト云フヤウナ有様デアル、此時幸ニ大浦農商
務大臣ガ來ラレテ、聞ク所ニ據ルト「キラルフ井」ト立會ノ上デ——交渉ヲ重ネ、漸クニ
シテ不充分ナガラ相當ノ（井上角五郎君）豫算委員ノ諸君ハ豫算案御出ヲ願ヒマス」
ト呼フ場所ヲ與ヘテ、幾分品陳列シテ御茶ヲ濁シタヤウノ始末デアリマス、併ナガラ國寶
ノ三分ノ一程シカ一遍ニ陳列スルコトガ出來ナイノデアルカラ、已マラ得ズ代ルノ陳列
シナケレバナラスト云フヤウナ醜態ヲ來シタノデアリマス、折角日本政府ト國民ガ國寶ヲ
陳列セントシタトコロノ、其趣意ヲ半バ以上抹殺サレテ、其目的ヲ達スルコトガ出來ナカ
タト云フコトハ、誠ニ遺憾ノ至リデアラウト思フ、ソレノミナラズ諸君日英博覽會ノ總務長官ハ何
ケタルコロノ屈辱ノ一デアラウト思フ、ソレノミナラズ諸君日英博覽會ノ總務長官ハ何
人デアルカト云フト「キラルフ井」自ラアルノデアル、「キラルフ井」自ラ進シテ事實
上ノ權力ヲ有スル地位ニ立ッテ居ルノデアリマス、總會長ニナッテ居ルノデアリマス、勿
論別ニ名譽會長ナル者ハアルケレドモ、是ハ英國ニ於テハドウ云フ會ガ設ケラレドモ、皇族
若クハ貴顯ノ方ガ名譽ノ會長ニ祭り上ゲラル習慣デアリマスカラ、別ニ日英博覽會
ニ限ルコトデハナイ、如何ナル團體如何ナル會合ト雖モ、社會的ニ若クハ即チ彼國ノ慣
例トシテ、總裁若クハ會長ニ選バレルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、曩ニ小村
大臣ガ皇族ガ、名譽會長ニナラレテ居ルト云フヤウナコトハ、決シテ是ハ此處ニ特ニ價ノ
アルコトデナイノデアリマス、是ハ彼地ニ於ケル普通ノ即チ社交上ノ形式デアアルデアル、
其形式デカラ「コンノット」殿下ハ餘儀ナク推戴サレテ出ラレテ居ラレルト云フニ過ギナイ
ノデアリマス、且又先刻申上ゲテ居ル「キラルフ井」ハ此博覽會ヲ自分ノ意ノ如ク爲ス
トコロノ全權ヲ有シテ居ルノミナラズ十數人ノ自分子供ヲシテ重要ノ理事役人ニシテ勝
手氣儘ニ權力ヲ以テ會務ヲ決行シテ、我國政府ヨリ派遣シタル博覽會ノ主任タルトコ
ロノ和田長官ハ恰モ「キラルフ井」一小使ノ如ク「キラルフ井」秘書官以下ノ如キ待
遇ヲ受ケラレテ、即チ我國國民ノ代表者ハ言フニ言ハレヌ屈辱ヲ受ケテ居ルノデアリマス、
「キラルフ井」ハ一本ノ手紙ヲ以テ大小ノ事ニ拘ラズ、和田長官ヲ一々呼寄セタト云フ
事實ガアルノデアリマス、又和田長官ハ唯々諸タトシテ「キラルフ井」ナル一猶太人ニ我
帝國ノ大任ヲ負フテ居ルトコロノ其職責ヲ忘レテ少シモ爭フトコロナク、彼ノ呼付ニ應ジ
テ伺候ラスルト云フコトヲ、是レ事トシタト云フガ如キ、如何ニモ我國ノ體面ヲ我國國民ノ
代表者ニ取ッテハ、言フベカラザル屈辱ヲ受ケタト云フコトモ、私ハ此處ニ明言セザル
ヲ得ナイノデアリマス、此醜態ハ凡テ日英博覽會ニ關係アル同胞人ハ皆非常ニ憤激シテ
居ル次第デアリマス、其他諸君此處出品シタル出品人、茲ニ博覽會ニ從事シタル者ハ
殆ド一二ノ當局者ノ外ハ、悉ク不満足デアッタノデアリマス、又悉ク不平デアッタノデア
ル、不平ト不平トガ實ニ相合シテ、此博覽會ハ殆ド見ルニ忍ビナイ態ノ極ニ陥ッテ居ッタノ
デアル「大浦大臣ト和田長官ノ喧嘩ハ如何ト呼フ者アリ」其問題ハ私ハ幸ニシテ聞クコト
ヲ得ナカッタケレドモ、大浦大臣ニシテ左様ノコトハナカラウト思フテ居リマス、免ニ角失態
ヲ極メテ居ッテ、遺憾ナガラ大浦大臣ハ餘リ長ク倫敦ニ御滞在ノ餘暇ガナカッタノデア
ル、ソレ故ニ私ハ大浦大臣ハ此博覽會ヲ表裏悉ク御觀察ニナッタト云フコトヲ私ハ言ハレ
コトハ出來マイト思フノデアル、況ヤ大浦大臣ガ來ラルレバ即チ博覽會員ハ皆悉ク假粧

ヲシテ、サウシテ大浦大臣ニ接スルガ故ニ、大臣タルモノハ其表面ノ觀察ニ止ツテ、決シテ其裏面ノ大不平、大衝突、大混亂等ノ事實、是等ハ十分御耳ニ入ラナカッタラウト思フ、併ナガラ大浦大臣ハナカク「賢明デアルト云フコトヲ、此度外遊中發見シタ、ソレ故ニ又十分此裏面ニ於テモ、或ハ御承知デアルカ知ラヌケレドモ、職責上是ハ明言セラレハ譯ニイカヌデアラウト、私ハ同情同感ニ堪ヘナイデアアル、ソコ諸君尙申上デベキコトハ多クアルケレドモ、私ハ申シマセヌ、唯日英博覽會ガ日英同盟ノ上ニ及ボシタルトコロノ感情、其利害ヲ少シ諸君共ニ研究シテ見タイ、日英同盟ノ形勢ハコ、一兩年前ヨリ段々冷却ヲシテ居ルト云フコトハ隠レナキ事實デアリマス、關稅問題ノ衝突上ヨリシテ、尙一層其度が高マッタデアアル、併ナガラ是ハ原因デアリマス、既ニ申ス通り日英同盟ノ熱ハ一年二年前カラシテ、段々ト冷却シテ來テ居ル、ソレニ就テ一般英國中流以下ノ人民ノ言フコトヲ聞クノニ、何ト云フカト云ヘバ、最早日英同盟ノ必要ハアルマイ、オ前ハ露國ト同盟シタデナイカ、又其他ノ國トモ今日都合ガ好イデハナイカ、オ前ノ方デハ多分日英同盟ハモウイヤダト云フコトニ、一般ノ人民ガナッテ居ルサウダガ、事實ハドウデアルカ斯ウ言ハレル、ソレガ「レストランド」ノ老爺モ、下女モ若クハ小間物屋ノ老爺モ、若クハ煙草屋、洋服屋ノ老爺モ、其他方々ノ階級ノ者ガ異口同音ニ此ノ如キコトヲ唱ヘテ居ル、最早日英同盟ノ必要ハナイデアラウト、オ前ノ方デハ困ッテ居ルタラウ、イヤダラウト云フコトヲ明言シテ居ルトコロヲ以テ見ルト、此中流以下ノ多數ノ國民ノ輿論ヲ即チ標準トシテ立ツコロノ英國政府、竝ニ英國ノ上流社會ガ如何ニ日英博覽會ニ對スル所ノ態度、又其熱心ガ冷却シテ居ルカト云フコトハ、其一般ヲ窺フニ足ルデハアリマセヌカ、況ンヤ英國ノ上流社會ニ於テモ、斯様唱ヘテ居ルデアリマス、ソレ等ノ原因ハ多クアリマセウガ、是ハ私ハ他日又外交上ニ付テ申シタイと思フコトが多クアリマスガ故ニ、其時ニ讓ツテ是ハ此處ニ私ハ辯明ヲ求メナイケレドモ、事實ハ即チ日英同盟ノ熱ハ英國到處ニ於テ冷却シテ、其冷却シテ居ル矢先キニ於テ、即チ此關稅問題ノコトガ起ツテ、英國ノ上流社會、實業社會、政治社會ガ申合セタ様ニ勃然トシテ憤慨シタデアリマス、其憤慨ノ程度ハ、小村外相ガ自分ノ外務省ノ椅子ニ腰掛ケテ、文書ヲ見テゴザツテ千里眼ヲナスツテゴザルヨリハ、マダ一層甚シイデアアルコトヲ知ラナケレバナラヌ、例ヘバ「ジョンブル」ト云フ新聞ガアリマス、此「ジョンブル」ト云フ新聞ハ中流以上皆悉ク讀ムコロノ一種ノ非常ニ有力信用ノアル新聞デアアル、此新聞ハドウ云フコトヲ掲ゲタデアアル、「ジョンブル」ハ即チ英國デアアル、此英國ノ大キナ像ヲ掲ゲテ、日本人ガ劔ヲ以テ英國人ノ腹ヲ刺シテ居ル、其刺シテ居ル所ヘ、英國ノ「ジョンブル」ガ答ヘテ言フコトニハ斯クマデ御盡シスルノニオ前ハ報ユルニ之ヲ以テスルカ、ト云フ殺人畫ヲ掲ゲテ一般英國人民ノ感情ニ訴ヘテ居リマス、即チ上流社會、中流社會ヲ殆ド憤激ノ極度ニ至ラシメタデアリマス、是ハ諸君ガ想像スルヨリハ偉大ナル勢力ヲ持ツコトハ、加藤大使モ吳ノ歎息シテ居タデアアル、此ノ如クニ實ニ關稅問題ハ一層日英ノ情交ヲ冷却セシメタデアアル、是等ノ外ニ更ニ冷却セシメル動機ヲ與ヘタモノガアルツレハ即チ何カ、日英博覽會ノ大失態デアリマス、日英博覽會ノ工藝美術ノ方面ニ於テハ、佛蘭西アタリデハ十年前佛蘭西ニ行ハレタ博覽會ノ當時ヨリモ、一段ノ進歩ヲ爲シテ居ルコトヲ喜ブト云フコトヲ私ニ佛蘭西ノ美術家ノ大家ガ「博覽會ニ關係アル大家ガ答ヘタ、其他織物ノ點ニ於テ亦多

少見ルベキモノガアル、其他ノ方面ニ於テハ格別十年前ト變ルコトハナカッタ言ッテ居ル、私ハ其人ト同シ汽車ニ乗ッテ暫クノ間旅行シタ、其人ハ私ニ左様ニ言ッタデアリマス、一般ノ考ガ此ノ如キコトデアラウト思フ、ソレノミナラズ此博覽會ニ從事シテ居ル者ハ、多ク中流以下ノ日本實ニ劣等ナル人ミガ多カッタ、何故カト云ヘバ此博覽會ハ即チ興行ノ博覽會デアッタ、見世物ノ數ハ實ニ無數デアアルデアリマス、而シテ其見世物ハ殊ニ角力ト臺灣ノ生番ト、北海道ノ即チ「アイヌ」デス、ソレト臺灣ノ喫茶店、此四ツノモノガ實ニ呼物デアッタデアアル、而シテ生番若クバ「アイヌ」ノ問題ニ付テハ英國ノ人道者ハ何故ニ此ノ如キオトナシ「アイヌ」ノ如キ者ヲ此博覽會ニ十錢二十錢ノ入場料ヲ取ツタデアアルカ、英國ノ上流婦人ハ泣イテ私ニ其不當ヲ訴ヘタデアリマス、私等ハ何トモ之ニ答ヘルコトガ出來ナイデアアル、而シテ彼等ハ「アイヌ」ヲ見ル毎ニ、親切ニ涙ヲ流シテ種々ノ物ヲ與ヘ、又慰安ヲ與ヘテ此「アイヌ」ヲ満足セシメテ歸ラセヤウト云フ感情ヲ持ッテ居タコトヲ私ハ見タ、屢ハ其處ニ臨シテ西洋婦人其他カラ通辯ノ勞ヲ執ラセラレタノデル、兎ニ角此問題ニ付テモ、大ニ研究ヲ要スル、後藤遞相其他臺灣ニ關係アッタコロノ人ハ、是等ニ付テハ何ト考ラレルデアアルカ、苟モ人間タル——實ニ此我國同胞タルコロノ土人ヲ、觀覽料ヲ取ッテ見世物ノ料ニ供セシメタト云フコトハ甚シキ私ハ人道上ニ於ケル大失態デアアル、我政府ガ之ヲ默認シタト云フコトハ、最も悲シムベキ失態デハナイカト信ズル、而シテ以上申上ゲル様ノ事柄ガ他ノ失態ト相俟テ日英博覽會ニ對スル同情ヲ冷却シテ、彼國人ニ輕侮ノ念ヲ起サシムルニ有力デアッタコトハ疑ナイデアリマス、且又博覽會ガ日本ノ實業ノ狀態、商業ノ狀態、社會上ノ狀態、若クハ日本人民ノ生活人格等ニ關スルコト、殊ニ下等社會ノ勞働、若クハ工業ニ關スル、是等ノコトヲ彼等ニ具サニ日本村若クハ假裝行列等ニ由ッテ示スコトヲ得タデアリマス、而シテ是等ニ伴ウテ來タコロノ種々ノ失態、種々ノ醜態ハ彼等ニ一層ノ惡感情ヲ懷カシメ、是等ノ實ニ見ルニ堪エザルコト、英國實業家、英國政府ノ冷淡ト、而シテ此一般人民ノ冷却シタコロノ日英ノ此同盟ノ關係等ガ、互ニ綜合ラシテ遂ニ此博覽會ヨリシテ、日本ニ對スル尊敬ノ念ヲ沮喪冷化セシメタ事實ガアルデアアル、此博覽會ノ一大失態、日英間ノ情交ヲ冷却セシメタコロノ事實ガアッタト云フコトヲ、私ハ此處ニ……

○議長(長谷場純孝君) 藏原君——說明ヲ請フノデセウ、其御積リデ……

○藏原惟郭君 說明ヲ請フノデス、ソコテ私ハ小村外務大臣ガ是等ノ事實ニ對シテ、全ク反對ノ方面ニ於テ、博覽會ノ大成功博覽會ノ大人氣、博覽會ノ實ニ大盛事ヲ述ベラレタニ付テ、全ク反對ノ觀察、反對ノ事實ガアルガ、是ニ付テ小村外相ノ答辯如何、小村外相ハ外交ニ關スルコトハ必シモ其真相ヲ言ハズシテ、其虛飾ヲ述ベラレト云フコトハ、決シテ小村外相ノ品性デハ無イコトヲ信ズルガ故ニ、是等ニ付テモ立派ナ事實ヲ述ベラレテ、吾ミ疑ヲ解カレンコトヲ願フデアリマス(拍手起ル)且又私ハ是ニ對スル百八十万圓若クハ二百萬圓ノ金ヲ——如何ナル條項ノ下ニ、或ハ條件ノ下ニ「キラフ井」ト契約ガ成立ッテ、此金ハ果シテ有益ニ使ハレテ居ルカ、果シテ是ニ依ッテ小村外相ガ宣明セラレタヤウニ非常ナ利器ヲ與ヘタカ、又「キラフ井」ト我政府ト我日本國民トノ全體ノ提灯ニ釣鐘ト言ハノヨリハ、寧ロ所謂神樣ト「デウ井」トノ關係ヨ

リモ甚シキ、相違衝突ノコトデアルト思フガ、是等ニ付テハ今日ニ於テ小村外相及我當局者ハ大ニ恥入テ居ルデハナカラウカ、又サウ云フコトハマルデ違ツタル觀念ヲ持テ居ラレカ、其事實ヲ表明セラレンコトヲ望ム、若モ私ノ言ガ正シクナイナラバ、數名ノ此度行ツタコロノ同僚、竝ニ其他ノ實業家竝ニ出品人其他ハ悉ク私ニ同意同感デ、事實ハ是ニ違ハナイト云フコトヲ明言スルノデアアル、小村外相ハ御病體デ御困リデアリマセウケレドモ、願クハ親切ニ前々ヨリ申上ケタルコトヲ御答ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

(農商務大臣男爵大浦兼武君登壇)

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 日英博覽會ノコトニ付キマシテ、唯今藏原君ヨリ御質問ガゴザイマシタ、私が不肖ナガラ日英博覽會ノ總裁ノ大命ヲ奉シテ、一切ノ責任ハ私ニ有ルノゴザイマスカラ、先以テ其責任者タルコロノ者ヨリ御答ヲ致シマシテ、其他何カ外交上ニ關スルコトハ、ソレノ其當局者ニ御質問ニナリマシタナラバ宜シウゴザイマセウト考ヘマス、幸ニ藏原君ガ倫敦ニ長ク御滞在ニナリマシテ、日英博覽會ノコトヲイロノ御質問ニナリマシタガ、全體日英博覽會ニ付キマシテハ、善惡共ニ評判ノアツタコトハ、諸君御承知ノ通りデゴザイマス、ソレハヤハリ世人ノ鑑定ニ任セルト、私ハ當初決心シテ居ッタデアリマスカラ、惡イコトハ惡イコト云フ御鑑定ハ藏原君ニ任セテ宜カラウト考ヘマス、日英博覽會ヲ開イテ趣意ハ前ノ議會、其前ノ議會ニモ屢々議場ニ於テ陳述ヲ致シテゴザイマスカラ、最早茲ニ繰返スノ要ハナイト考ヘマス、唯此成功不成功ト云フコトニ付テ、世人ノ議論ノ在所ハ、固ヨリ御承知ノ通りデゴザイマシテ、此問題ニ於テハ當初契約ヲ致シタルコロノ「キラルフ井」人「格ヲ茲ニ論ズルノ必要ハアルマイト私ハ考ヘマス、我邦ノ所謂戰後ノ經營トシテ、海外ノ貿易ノ發展ヲ圖ラント欲スルコロノ本デアツテ、如何ナル人デアラウガデス、我國ニ「ノウ」利益ノアルコトヲ以テ「ノウ」茲ニ張出シテサウシテ我國力ノ發展ヲ圖ルノ趣意デアル故ニ、何ゾ必シモ「キラルフ井」人「格ヲ茲ニ論ズル必要ハナイ」(ノウ)其「キラルフ井」人「格」者何カ我政府ト條約ヲ違ヘタト云フコトガアレバ格別、私ノ實地調査スルトコロニ依レバ、毫モ當初ノ契約ト彼ガ條約ニ背イタコトハナイノデアアル(小寺謙吉君「加藤大使ヲ訪問シテ和田事務局長官ヲ誡ラントシタ事實ハ如何デス」藏原惟郭君「加藤大使モ實ニ彼ヲ持テ餘シテ居ル」ト呼フ)マ御聽キ下サイ、私が實際調査シタルトコロニ依レバ、彼ガ豫テノ人格ヲ以テ世人ノ議論ズルモ、萬一ニモ我邦トノ約束ニ背イタコトガアレバ、必ズソレヲ矯正致サウト存シテ悉皆調ベタノデアリマス、是ハ元來ノ約束通り毫モ其約束ノ違ツタコトハアリマセヌ、而シテ日英博覽會ノ成功不成功ハ此博覽會ヲ開イタ後ニ我邦ノ貿易ガ如何ニ發展スルカト云フコトガ即チ成功不成功ノ岐ルルトコロデアツテ、何ゾ「キラルフ井」人「格」ガ惡イカラドウトカ云フコトヲ以テ、ソレデ失敗デアルトカ失敗デアリト云フコトヲ判定スルモノデハナイ、(其國民ガ人格ヲ批難シテ同情ヲ持タヌノハ何等關係ガナイト言ハル、カト呼フ者アリ)當時「ブラッセル」ニ世界大博覽會ガアツテ、英吉利ノ政府ハソレニ全力ヲ注イダノデアアル、即チ「キラルフ井」ハ其前年

ニ英佛博覽會ヲ開イテ、其英佛博覽會ノアトニ於テ日英博覽會ヲ開イタノデアラカ英吉利ノ政府デハ全力ヲ「ブラッセル」ノ博覽會ニ注イダノデアラカラ、日英博覽會ニ英吉利政府ガ「ブラッセル」ト同ジヤウニ贊同スルコトヲ得ナイノデ、是ハヤハリ前年ノ英佛博覽會ト同ジコトニナルコトハ分ルノデアリマス

(此時私語スル者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 私語ハ許シマセヌ

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 是ハ英佛博覽會ト同ジデアリマス、英佛博覽會ハ御承知ノ通りヤハリ英吉利ノ政府ハ何モ構ハヌノデアリマス、ヤハリ「キラルフ井」ト佛蘭西ト開イタコトニナラデ居ル、ソレト同ジ譯デアリマス、ソコデ誠ニ吾等恐縮シタノハ英吉利ノ現皇帝ハ日英博覽會ノ開會ノ式ニ自ラ御臨場アラセラレテ、其式ヲ舉ゲラレントシタコロガ、御承知ノ通り御不幸ガアツタ故ニ、遂ニ其事ニ至ラナカッタ、所ガ昨年八月六日ニ現皇帝ガ御臨場アラセラレタノデアリマス、皇室ヲ始メテ、皇族實業家ニ至ルマデ全ク同情ヲ表セラレタノデアリマス、而シテ日英博覽會ヲ開イタ有様ハドウカト云フト、市街到ルトコロニ日本品ヲ陳列シテ、大ニ日本ノ品物ト云フモノガ倫敦市ニ蔓延シテ居ルト云フ有様ニナラデ居リマス、ソコデ是ハ今成功不成功ト云フコトニ付テ、私ハソレヲ以テ成功シテ居ルトハ思ハナイ、ヤハリ將來我國ノ貿易ノ高ガ如何ニナツタカト云フコトヲ以テ之ヲ成功不成功ノ岐ル、トコロトシナケレバナナイカラ、此日英博覽會ニ付テハ其統計ヲ以テ、他日御話ヲ致ス時期ガアラウト思ヒマスガ、折角今調ベテハ居リマスケレドモ、御話スル時期ニ至リマセヌガ、調ハ追々出來ルトコロデアリマス、故ニ唯今ハ御話致シマセヌガ、必ズ其調ノ出來タトコロデ、成程其位日英博覽會ノ效能ガアツタカト云フト御承知ニナルヤウニ致シタイト、折角樂ンデ居ルトコロデアリマス、大體此邊デ御承知アラントホ希望致シマス、(藏原惟郭君「其博覽會ノ品物ハ賣レズシテ閣下ガ去ラレタアトデ、拾賣リテ悉ク賣却スルヤウニシタコトハ、閣下ガ仰シタル通り、日本品ノ市街ニ蔓延シタノハ拾賣リシタ所以デアリマス」ト呼フ)ソレハアナタノ御鑑定ニ任セマス

○武藤金吉君 外務大臣ノ出席ヲ望ミマス

(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○西村丹治郎君 極ク簡單デアリマスカラ

(「登壇」ト呼フ者アリ、發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(長谷場純孝君) 今西村君ニ發言ヲ許シマシタ

(西村丹治郎君登壇)

○西村丹治郎君 昨ハ日英博覽會ノ枝葉ノ問題ニ付テ御尋スルコトハ措キマシテ、此根本問題ニ付テ、御尋シタイト思ヒマス、嘗テ此日英博覽會ノ經費ヲ議會ニ向ツテ御求メニナル際ニ、政府ハ此博覽會ナルモノハ、日英國際ノ上ニ非常ナ關係ヲ持ツ、影響ヲ及ボス事柄デアラカラ、ドウカ此問題ニ付テ質問ガアルナラバ、委員會ニ於テ一切述べルコト、シテ、本會デハ滿場一致ヲ以テ、是ニ協賛ヲ與ヘラル、ヤウニシテ貫ヒタイト云フ事柄ヲ以テ、此經費ヲ要求サレタノデアアル、ソレ故ニ吾々ハ此日英博覽會ナルモノハ、日英同盟ノ上ニモ關係ヲ持ツモノデアアル、所謂此博覽會ナルモノハ、日英國民ノ

國民的博覽會デアル、所謂國際的博覽會デアル、斯ウ云フ考ヲ以テ是ニ協賛ヲ與ヘタル
 デアル、然レニ既ニ藏原君モ申サレタ如ク、此博覽會ナルモノハ、彼地ニ往テ見レバ、政府
 ガ議會ニ向テ此經費ヲ要求スル際ニ宣言サレタル痕跡ト云フモノハ微塵タモ之ヲ見出
 シ得ナカッタデアル、所謂日英博覽會ナルモノハ、日英同盟ノ上ニモ國際上ニモ又日
 英國民的ノ基礎ノ上ニモ、何等關係ハナイト云フコトヲ認メタデアル、所謂此博覽會ナ
 ルモノハ恰モ淺草ノ奥山ノ公園ニ於ケル一ノ興業師、若クハ大阪ノ千日前ニ於ケル一
 ノ興業師ト、日本政府ガ結託シテ一ノ契約ヲ結ンテ博覽會ヲ開イタノデアル、
 所謂「キラルフ井」ト日本政府トノ博覽會デアラフ、日英博覽會ニアラズ、寧
 ロ是ハ「キラルフ井」ト日本トノ博覽會デアルト云フコトハ言ヒ得ラレタモ、決シテ之ヲ
 以テ日英同盟ノ博覽會デアルトカ、日英國際的ノ博覽會ト云フコトノ痕跡ハ一モ見出
 シ得ナカッタデアル、故ニ私ハ政府ニ問ハントスルコトハ、此根本問題ニ於テ、日英
 博覽會ナルモノハ、最初議會ニ向テ宣言サレタ當時ノ如ク、日英國民的ノ博覽會デア
 リ、日英國際的ノ博覽會デアルト云フ意味ニアラズシテ、「キラルフ井」ト日本政府ト締
 結シタル、約束シタル博覽會デアルト云フ意味デアラフ、最初ノ宣言ハ確ニ無視サレ、
 蹂躪サレテ、其痕跡ガモ見ラレナカッタデアル、是ヨリ先キ丁度同シ場所ニ於テ、英佛
 博覽會ト云フモノガ開カレタ、此英佛博覽會ハドウデアッタカト云フト是コソ、眞ノ英佛
 國民的ノ英佛國際的ノ博覽會デアッタト云フコトハ、何人モ之ヲ否認スルコトハ出來ナ
 イノデアル、何デアルカト言ヘバ、此英佛博覽會ヲ成功サスト云フコトニ付テハ、英吉利
 國民全體ガ恰モ狂セバカリニ之ニ向テ多大ノ同情ト多大ノ援助ヲ與ヘタト云フコト
 ハ、確ニ此英佛博覽會ト云フモノハ、一ノ國際的博覽會デアル、國民的博覽會デアル
 ト云フコトハ、所謂名實兩方面ヨリシテ、證據立テ居ルノデアリマス、併ナガラ今
 同ノ日英博覽會ハドウデアルカト言ヘバ、ソナ痕跡ハモ毛頭モ無イ、國民トハ沒交渉デ
 アル、政府ト無論沒交渉ト云フコトハ、初メカラ分テ居ルカラ申シマセヌガ、國民トモ
 沒交渉デアル、何等ノ關係ハ無イ、此日英博覽會ヲ呼ブノニ英吉利人ハドウ言テ居ル
 カト言ヘバ、「セファードブッシュ」ニ於ケルトコロノ日本博覽會ト云フコトヲ申シテ居ルノデ
 アラフ、日英博覽會ト云フコトヲ言フ人ハ一人モ無イ、文字ノ上ニ書ケバ、アチラニ行ッテ
 モコチラニ行ッテモ、市中ニアル廣告ヲ見ルト、日英博覽會ト云フ文字ハ到處ニ掲ゲラ
 レテ居ッテモ、口ニ言フ時分ニハドウ申スカト云フト、日本博覽會ト云フテ、「セファード
 ブッシュ」ノ日本博覽會デアアル、決シテ英吉利ノ「イ」ノ字ヲ言フモノハ一人モ無イノデア
 ル、ソレデアリマスカラ、此日英博覽會ニ向テハ前ニ英佛博覽會ガ開カレタ時分ニハ、
 國民舉テ之ニアラユル援助ト同情ヲ與ヘテ、唯其バザランヲ恐レルト云フヤウナ有様
 デアッタノニ、今回ハ冷々淡々、實ニ淡キコト水ノ如シト云フ有様ヲ以テ、國民ハ之ヲ見
 テ居タノデアアル、獨リ之ニ同情ト援助ヲ與ヘスト云フナラバ、マダ忍ブベシ、更ニ進ンデ此
 日英博覽會ニ對シテ、アラユル手段ヲ以テ迫害ヲ加ヘタト云フ事實ヲ、私ハ確ニ認メテ
 居ルノデアアル、同情ト援助ヲ與ヘヌノミデナイ、之ニアラユル迫害ヲ與ヘタノデアアル、是ハ
 決シテ英吉利人全體ガ迫害ヲ與ヘタトハ申シマセヌガ、少クモ所謂此倫敦ノ「シチーカ
 ウンシル」ナルモノハ——「シチーカウンスル」ト云フコトハ間違ッテ居ルカ知レマセヌガ免ニ
 角倫敦市ナルモノハ——倫敦市ナルモノハ、之ニ對シテアラユル手段ヲ以テ迫害ヲ加ヘ

タノデアアル、或ハ道路法トカ若クハ火災豫防法トカ、或ハ建築法デアルトカ云フ、アラユ
 ル此取締レベキ市ノ一ノ行政手段ニ依ッテ、出來得ルダケ此等ノ法律命令ヲ曲解致シ
 テ、狹義ニ解釋致シテ、アラユル不便ト妨害トヲ此博覽會ノ上ニ向テ與ヘタト云フコ
 トハ、蔽フベカラザル事實デアアル、ソレデアルカラ援助ヲ與ヘヌノミデハナク迫害ヲ與
 タ、是ニ至ッテ私ハ前ニ同シ場所ニ於テ、計畫サレタル英佛博覽會ナルモノハ、確ニ國際
 的國民的基礎ノ上ニ打立テラレテ、立派ナルトコロノ成切ヲ遂ゲタ博覽會デアッタカレ
 ドモ、今回我政府ノ計畫シタル日英博覽會ナルモノハ、日英博覽會ノ事實ハ痕跡タモナ
 ク「キラルフ井」ト日本政府トノ博覽會ニ過ギズ、何等此間ニ日英國際的、若クハ日
 英國民的博覽會ナドト云フコトハ、何等無キノミナラズ更ニ之ニ向テ迫害ヲ加ヘタト云フ
 事實ノ存スルニ至ッテハ、最初政府ガ此經費ヲ議會ニ要求サレタ時分ニ、是ハ日英同盟
 ノ上、日英國際ノ上、日英國民的ノ上ニ非常ナル關係ト影響ヲ持ツ博覽會デアルガ故
 ニ、本會デハ一言半句モ挾マズ、満場一致ヲ以テ之ヲ通過シテ吳レト言ウテ要求サレ
 タ、此事實ト云フモノニ全ク反對シテ居ルノデアアル、夫故ニ私ハ斯ウ思フ、政府ハ確ニ獨
 リ當議會ヲ欺イテ、此經費ヲ要求シタルノミナラズ、是ノ一事ナラバ尙恕スベシ、更ニ進ンデ
 申シマスナラバ、長多クモ上 聖明ヲ欺罔シ奉ッテ、此議會ニ此經費ヲ要求ヲ求メタ、
 ト斯ウ申シテモ恐ラク政府ハ之ニ對スル辨解ノ辭ハナイダラウト思ヒマス、故ニ此點ニ付
 テ根本問題ニ付テ、政府ハ最初議會ニ向テ經費ヲ要求サレタ此意味ガ、最後マデ徹
 底シテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テ、明確ナル御答辯ヲ煩シタイと思ヒマス（拍手起ル）
 ○藏原惟郭君 外務大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、御答辯ヲ願ヒマス
 ○外務大臣（伯爵小村壽太郎君） 議長……
 ○議長（長谷場純孝君） 外務大臣……
 ○外務大臣（伯爵小村壽太郎君） 日英博覽會ノコトニ對シマシテ、先刻藏原君ヨリ
 御質問ガアリマシタ、又唯今西村君ヨリノ御質問ガゴザイマシタガ、先刻農商務大臣ヨ
 リ大體ノコトハ御答ニナッタト信ジテ居リマスルガ、尙更ニソレニ敷衍致シマシテ一言申上
 ゲテ置キマス、御承知ノ如ク當初政府ニ於キマシテ、此日英博覽會ノ計畫ヲ立テマシタ
 主タル目的ハ外デモゴザリマセヌ、日英ノ間ニ重大ナル政治上ノ關係モアルニモ拘ハラズ、
 實ハ我同盟國民ニ於テモ、我帝國ノ眞相ヲ解シテ居ル者ハ多數ニ涉ッテ居ラヌノデゴザ
 リマスルカラ、幸ニ先年倫敦ニ開催ノ英佛博覽會ノ例ニ依リマシテ更ニ日英博覽會ヲ
 開催致シマシテ、我帝國ノ眞相ヲ彼ニ知ラシメル機會ヲ與ヘルト云フコトハ、日英兩國
 間ノ關係ヲ益、固ク致シマスル上ニ於テ、最モ有益ト認メマシタノガ、此開催ヲ促シタ一
 ノ原因デゴザリマス、第二ニハ御承知ノ如ク日英間ノ貿易ハ大切デゴザリマス、ケレドモ
 彼ヨリ我ニ輸入スルモノガ頗ル多クテ、我ヨリ彼ニ供給スル物品ハ割合ニ僅少デゴザリマ
 スルカラ、此博覽會ヲ開キマシテ將來日本ノ英國ニ對スル此輸入ニ付キマシテ、其輸入
 ノ増進ヲ促ス一ノ手段トシテ、最モ必要ト政府ニ於テ考ヘタノデゴザリマス、大體ノ目的
 ハ此ニツデゴザリマス而シテ此目的ヲ達シマスルタメニ、日英博覽會ノ開催ヲ計畫致シマシ
 タ、其結果ハドウカト申シマス最前諸君ニ向テ開陳致シタ通ノ次第デゴザイマシテ、成

程我同胞間ニハ此博覽會ニ對シテ種々ノ非難モアツタヤウニ承テ居リマスルガ、政府ニ於テ——吾ミ於テ英國ノ官民ヨリ受取テ居リマスコロノ通信又ハ英國ノ新聞紙上ニ現ハレテ居ルコロノ論說、記事等ヲ(藏原惟郭君「ソレハ金ヲ出シテ買ツタカラデス」ト呼フ)綜合致シマシテ政府ニ於テハ大體ニ於テ此博覽會ノ目的ヲ遂ゲタト云フ確信ヲ有シテ居リマスルカラ、先刻ハ其確信ノ在ル所ヲ申上ケタ次第デゴザイマスル、而シテ我同胞間ニ於テノミ、斯ル非難ノアリマシタノハ、誠ニ遺憾デゴザイマスルケレドモ、此博覽會ノ目的タル我同胞國民ニ於テハ最前申上ゲル通り、聊カ非難ヲ受ケタコトハアリマセヌ(「ソレハ」)「ソレハ」間違ッテ居リマス「大間違」ト呼フ者アリ(是ハ政府ニ於テ各種ノ方面ヨリ得テ居ルコロノ情報ニ依ツテ斯ク判斷シタ譯デアリマス(藏原惟郭君「吾ミモ各方面ヨリ確メテ居ル事實ガアリマス」ト呼フ)判斷ハ各ノ人デ違ヒマセウ、是ハ仕方ガアリマセヌ(「知ラヌハ政府バカリナリ」ト呼フ者アリ、藏原惟郭君「何等ノ根據ガアル、其材料ヲ御提出ナサイ」ト呼フ)而シテ先程藏原惟郭君ノ御演說中ニ英國ノ皇室、其他朝野ノ人士等ノ同博覽會ニ對スル同情ト云フコトヲ私が申上ケタニ對シテ、御意見ガアツタヤウニ拜聴致シマシタガ、英國ノ皇室、皇族其他朝野ノ名士ニ於テ、此博覽會ノタメニ同情庇護ヲ與ヘルコトヲ切ニ計ツタト云フコトニ付キマシテハ、吾ミ日本國民トシテ深ク感謝セヌケレバナラヌコト、政府ニ於テハ信ジテ居リマスカラ、此事ハ改メテ茲ニ確言致シテ置キマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○武藤金吉君 議長

○議長(長谷場純孝君) 武藤金吉君ハヤハリ外務大臣ノ演說ニ付テデスカ

○武藤金吉君 左様デス

○議長(長谷場純孝君) 武藤君

○武藤金吉君 當席カラ……

(「登壇スベシ」ト呼フ者アリ)

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 私人質問ハ極簡單デアリマス、一ツ／＼ニ質問ヲ致シマス、此日英博覽會ノコトハ唯今問答ガアリマシタガ、是ハ確ニ藏原君、西村君ノ言フトコロガ正當デアルト、先ヅ私ハ斷言ヲ致シマス(拍手起ル)ソレカラ私ノ問ハント欲スルコロハ、此關稅定率ノ改正ニ付キマシテ、小村大臣ハ英國ヲ始メトシテ遣外大使並ニ公使ニ向テ本省ノ方針ヲ傳ヘルニ方ツテ、即チ帝國議會ガ決議致シタコロノ方針ヲ統一シテ行ハレテアルヤ否ヤ、私ノ親シク加藤大使其他ノ大使聞クトコロト、今日小村大臣ノ説明サレルトコロトハ大ナル相違ガアルデアリマス、是ハ小村大臣ガ各大使ニ是ダケノ事ヲ傳ヘテアルデアアルヤ否ヤ、ソレカラ談判ノ進行中デアアルカラ、秘密ヤト申サレテ居リマスガ、英國ノ方デハ吾ミニ向テモ何種ニ對シテ是ダケノ減稅サスルト云フコトヲ明カニ數字ニマデ記載サレタ印刷物ヲアチラニ居ル時分ニ於テモ、今日ニ於テモ配付サレテ居ルデアリマス、是ハ秘密ニスルコトハナイノデス、關稅ノ改正ハ總テ稅率ガ公然ト日本ニ於テモ極テ居ルデアリマスカラ、是等ニ對シテ何モ秘密ヲ要スルコトハ更ニ無イト思フ、例ヘバ英國デ

アリマシテ最モ問題ニナツテ居リマスノハ綿絲デアリマス、此綿絲ハ「マンチエスター」ヲ中心ト致シマシテ、唯今日本ノ關稅定率ノ改正ニ一番ニ抗議ヲ申込シテ居ルノハ是デアリマス、其他鐵機械ニ對シテモ、異議ガアルデアリマス、此鐵機械ニ付キマシテハ、讓歩ノ餘地ノアルコトモ吾ミハ認メテ居ル、是等ノコトハ何故ニ小村大臣ハ公ニ議會ニ報告サレヌデアリマス、殊ニ此談判中ニ大藏省ノ說明委員ヲ遣ツテ各國ヲ説明サシテ歩クト云フヤウナ、何等ノ失態ヲ演ジタデアリマス、苟モ一國ガ法律ヲ制定シテ、國定稅率ヲ行フト云フ上ニ於テ、斯様ナ失態ヲ以テ彼ニ對シタナラバ、彼ハ應ズル氣遣ヒハナイ、是等ニ對シテハ何故ニ小村大臣ハ自ラ信ズル所ヲ行ハナイデアリマスガ、今日已ニ好良ニ進行シツ、アルト云フコトハ、全ク自分ノ定見ヲ捨テ、其讓合ガ成立ツト云フニ過ギナイデアリマス、其他佛國アタリハ已ニ半分以上出來タモノガ、英國カラ異議ガ起ツタメニ現在出來ナイテ居ルデアハゴザイマセヌカ、是等ハ何レノ大使館公使館ニ往ッテ聞イテ見マシテモ、非常ナ不平ヲ言ツテ居ル、現ニ加藤大使ノ如キハ自ラ是ハ外務省ノ方針ガイケナイト言フコトヲ吾ミ三回ニ及ンデ説明ヲ聞イテ居ル、(拍手起ル)倫敦ヲ立去ル場合ニハ、四時間ニ互ツテ加藤大使カラ英國ノ協定ノ成行ヲ少シモ秘密ナク話サレテ居ル、然ルニ小村大臣ハ之ヲ秘密ニ付シテ置クトハ何事デアリマス、歐羅巴ノ新聞ハ悉ク明細ノ項目マデ書イデアリマス、知ラヌハ亭主バカリデハナイ、アナタバカリガ知ラナイ、而シテ國民ニ向ツテモ之ヲ秘密ト稱シテ居ルノハ、私ハ其意ヲ得ナイと思ヒマス、現ニ此問題トナツテ居リマス事柄ニ付テハ、何故ニ當業者ヲ保護スル上ニ於テ、又關稅ニ依ツテ國ノ收入ヲ得ル上ニ於テ、モウ少シ親切ニ御報告ヲナサヌデアリマスガ、所ガ御報告ナサラナクテモ總テモウ世界デハ皆公ニナツテ居ル事柄デアアル、殊ニ佛蘭西ト獨逸ニ對シテハ、協定ノ餘地ガアルト云フコトハ、關稅定率ノ委員會ニ於テモ、明言サレテ居ルデアリマスガ、獨逸ノ如キハ何モ此方カラ言ハナイデモ、向フカラ買フノガ多イデアリマスカラ、是ハ協定スルト言ツタ所ガ、何等骨ノ折レルコトガナイ、唯英國ニ對シテ少クトモ、小村大臣ハ何故ニ自ラ責任ヲ負ツテ之ヲヤラナイデアリマス、其責任ハ小村大臣ニ在ツテ而シテ一面ニ於テハ倫敦ニ於ケル加藤大使ニ在ルデアアル、然ルニ加藤大使ノ言フ所ヲ以テスレバ、小村大臣ハ吾ミニ命令ヲ傳ヘルコトガ間違ッテ居ル、サウシテ吾ミノ意見ヲ容レズニ命令ヲシテ居ルカラ行ハレナイト云フコトヲ斷言シテ居ル、果シテ兩者ノ言ヲ聽ケバ、其責任ノ歸著スルコロハ無論私ハ小村大臣ニアルト思フ、今日關稅改正ノ成行ハ、ドウカト云ツテ、議員カラ質問サレタトキニ、考量中デアアル、今進行中デアルト云フコトヲ以テ答ヘルノガ、第一ニ議院ヲ侮辱シ、自分ノ責任ヲ重シセザルトコロノ仕方デアアルト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ責任ヲ以テ今少シ議會ニ對シ、國民ニ對シ、親切ニ御答辯アツテ然ルベキコト、思フ、其他亞米利加等ニ對シ、マダ外交方針ノ演說ノ上ニ付テ、足ラナイコトガ澤山アル、支那ニ對シテモ亞米利加ニ對シテモ、何故ニ外交ノ方針ヲ明カニセラレヌデアリマスガ、尾崎代議士——今茲ニ居ラレマセヌガ、尾崎代議士ハ吾ミ共ニ亞米利加ニ於テ、桑港アタリノ市長ニ聽イテ見マスト此日米ノ密約ト云フモノハ、確ニアルト云フコトヲ尾崎代議士ノ前デ桑港ノ市長ハ二度卓子ヲ叩イテ明言シタ、日本ハ何故ニ日米ノ密約ヲ實行シナイデアアルカ、今晚茲ニ集マラ

レタ此日本ノ各種階級ニ屬スル人士ハ、必ズ本國テ之ヲ實行サセルトコロノ責任ガアルト云フ演說マデヤテ居ル、サウシテ此等ノ議會ニ於テ、亞米利加ニ對スル方針ハ、如何ニト云フ、石橋君カラ質問サレタ場合ニ、亞米利加ニ對シテハ何等條約ハナイト云フコトヲ政府ハ明カニ言ハレタ、向フデハ日米ノ協約ハ學童問題以來確ニアルト云フコトヲ新聞ニモ公開ノ席上ニモ、而モ責任アル桑港市長マデ吾々ニ對シテ明言シテ居ル、ツレニモ拘ハラズ、亞米利加ニ對シテハ、何等ノ約束ガナイ政策ヲ執ッテ居ルト云フ、怪シカラヌコト、思フ、殊ニ今日亞米利加ニ於ケルトコロノ、我同胞ガ如何ナル境遇ニアルカ、又亞米利加ニアルトコロノ、排日ト云フモノハ、ドノ點マデニ達シテ居ルカト云フコトヲ御承知デアリマセウ、彼ノ雜誌ヲ以テ日本人ヲ攻撃シ、幻燈ヲ以テ之ヲ映シ、甚シキハ演劇ニマデ仕組ンデ吾々同胞ヲ辱メテ居ルデアリマセウカ、是ニ對シテ外務大臣ハ何等ノ方針ヲ以テ亞米利加ニ對スルデアリマスカ、此邊マデ御説明ガナクテハ、少クモ此現内閣ノ外交ノ御演說トシテハ、私ハ不足デアルト思フ、又支那ニ對シテハ後刻松本君カラ、長イ御質問ガアリマセウカラ、私ハ省略致シマセウガ、是等ニ對シテハ、此外交ノ演說ヲスルト云フ上ニ於テ、少クモ要點ヲ擧ゲテ、御報告ガナクテハ、大體ノ責任ヲ忘レテ、居ラザルノデハナイカト思フ、唯私ハ是非共此關稅稅率ノ改正ニ付テハ、私が説明ヲ求ムルトコロノ英國トノ狀態ハ、ドノ邊マデ往ッテ居ルカ、是ハ秘密モ何モナイ、國際上ノ關係モナイ、心配セラル、ノハ小村大臣御一人デアリマス、一向差支ナイ、關稅稅率ノ如キハ、我國家ガ公ケノ約束ヲ以テ、國定稅率ヲ極メルノデ、是ニ對シテ英國デハヤント分ッテ居ル、何故ニ今少シ丁寧ニ親切ニ御説明ニナラヌデアリマスカ、唯今日英博覽會ノ如キハ、枝葉ノ問題デアル、枝葉ノ問題デアルケレドモ、是ハ絕對ニ宜シクナイコトデアル、其他外國ニ於ケル外交官アリノ遺リ方ヲ見テ參リマセバ、大體間違ッテ居ル、此萬國議員會議ニ對シテモ、一體世界ノ平和ノ政府ト政府ノヤル平和會議ノ如キハ、是ハ萬國議員會議ガ生ミ出シタコロノ產物ガ、海牙ノ政府ト政府ノ平和會議デアル、然ルニ萬國平和會議ハ、世界ノ諸ラヌトコロノ議員ガ集ル所デアルト云フヤウナ外務省其モノガ、議院ヲ代表シテ行クトコロノ者ヲ輕ンズルト云フヤウナ嫌ガアル、現ニ外務省ハ萬國議員會議ハ詰ラヌモノデアルト云フヤウナコトヲ、歸ッテ來テ見レバ言觸ラシテ居ル、是等ハ大體外交上ニ對スル小村大臣、現内閣ノ考ガ違ッテ居ルデアナイカト思ヒマスガ、唯私ノ辯明ヲ求メントスルトコロノモノハ、此關稅改正ニ對シマストコロノ經過ハ、ドノ邊マデ進ンデ居ルカト云フコトヲドウシテモ、説明ヲ承リタイ、ソレカラ又亞米利加ニ對シテ、我日本人ガ如何ニ待遇サレテ居ルカ、又來ルベキトコロノ一年後レテ居リマスカレドモ、亞米利加トノ通商條約ノ改正ハ如何ニ今日カラ腹案ヲ持ッテ居ラザルデアアルカ、少クモ外交ノ方針ヲ御報告ニナルニ當ッテハ、此二點ハドウシテモ逸スベカラザルモノデアラウト思フ、ドウゾ願クハ親切ニ詳細ナル御説明ヲ煩ハシタイデアリマス

〔外務大臣伯耆小村壽太郎君登壇〕

○外務大臣伯耆小村壽太郎君 日英間ノ條約改正ニ關スル談判ニ付キマシテハ、先刻尾崎君ノ御質問ニ對シマシテ、我所信ヲ述ベテ置キマシタカラ今更之ヲ繰返ス必要ハナイト考ヘマス、又米國トノ關係ニ付キマシテハ、既ニ第二十五議會並ニ第二十

六議會ニ於キマシテ、政府ノ方針ノアル處ハ精シク申上ゲテ置キマシタカラ、今日ノ演說ニハ之ヲ省イテ譯デアリマス、其間ニ何等新シイ事實モ發生致シマセヌガ、御承知ノ如ク目下「カリフォルニア」洲ノ議會ニ於テ排日ノ議案ガ提出ニナッテ居リマス、此事ハ事實デゴザイマスガ、是ハ米國一地方ノ一部人士ノ運動ニ係ル議案デゴザイマシテ、米國民多數ノ輿論デハナイト認メテ居リマスカ、政府ニ於キマシテハ、米國政府ノ誠意ト、米國民全體ノ明識トニ信賴致シマシテ、我ニ不利ナル結果ニ至ラヌコトデアラウト云フコトハ、深ク信ジテ居ルトコロノデゴザイマスカ、是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 此場合御諮リヲ致シマス

○服部綾雄君 此場合御諮リヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 外務大臣ニ何カ説明ヲ求メラレルデアリマスカ

○服部綾雄君 サウデス、私ハ日米ノ關係ニ付テハ、何モ問題ガゴザイマセヌデアリマシタカラ、沈黙シテ居リマシタ、イッレ時ヲ待ッテ改メテ伺ヒタイト思ヒマシタガ、御話ガ出タナラバ、私ハ一言伺ハネバナラヌコトガアル、日米ノ條約改正ノ成行ニ付キマシテハ、前ノ議會ニ於テ、米國ノ好意以テ此問題ハ事滑ニ片付デアラウト云フ外務大臣ノ御言葉ハ速記録ニ留ッテ居ルデアラウト思ヒマス、其有様ハ丁度今日日英ノ關係ニ付テ御述ニナリ、御求ニナッダ希望ガ現ハレタ通り吾々ハ記憶シテ居ルデアリマス、大臣ノ御言葉ヲ引イテ申スナラバ、確信ヲスルト仰セラレタト私ハ思ウテ居リマス、然ルニ遂ニ米國ハ之ヲ容レズシテ、一箇年程之ガ延期シタヤウニ私ハ開イテ居ル、即チ米國ノ言ヒ條約改正、我政府ノ言ヒ條約通過ナカッタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、少クモ條約改正ノ問題、日米ノ關係ニ付テ外務大臣ノ今日ノ御演說ノ中ニハ、前年ノ議會ニ於テ確信セラレタル御言葉ニ變動ノアツタ事ノ實況ハ、吾々ニ御話アッテ然ルベキモノデアラウト思フ、(ヒヤノ)他ノ列國ト違ヒマシテ條約改正ノ、談判ヲ御開キニナッダ亞米利加ト、日本トノ間ニ於テハ少シ違算ガアッテ一箇年トヤ違タト云フコトヲ言ハレマス、其事ハ本議會ニ於テモ或ハ委員會ニ於テモ、前議會ニ御尋申シタ者ガゴザイマスガ、是ハ米國ノ厚意ニ依ッテ滑ニ付ク、所謂他ノモノト同ジヤウニ、行クト云フ意味ヲ十分ニ御説明ニナッテ居ッタニモ拘ハラズ、其事實ガ違ッテ、今日外交ノ御演說中ニ此事柄ノ御説明ナキハ何ガ故デアリマスカ、又今日唯今日米ノ關係ノコトニ付テハ新シイコトガナイカラ、抜イデ居タ、問ハレテ御答ニナッダ、聊カニテモ此問題ヲ茲ニ御話ニナルトキニ於テハ、吾々議員ニ向ッテ少クモ此問題ニ付テノ成行ダケハ御説明アッテ然ルベキモノデアルマイカト私ハ思フデアリマス、私ハ外ノコトヲ聞キマセヌ、突然唯、此所ニ來テ、日米關係上ノ御演說中ニ於テ、條約改正期一箇年ノ追加ガアツタニモ拘ラス是ノ御説明ノナイ譯ヲ伺ヒタイ、ドウカ此事ニ付テノ實況、大臣ガ吾々ニ先年仰セラレタ通りニナラナカッタ其譯柄ヲ承リタイト御求メスルノハ穩當ナル質問デアラウト思フノデゴザイマス

○外務大臣(伯耆小村壽太郎君) 昨年ノ議會ニ於テ日米條約ノコトニ關シマシテ一言致シタコトハ、記憶致シテ居リマス、其時ニ當リマシテハ、日米間現行條約ノ終了期限ニ關シマシテ、不幸ニシテ兩國政府間ニ意見ヲ異ニシテ居リマシテ、其當時マデ意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ナカッタノデゴザイマスカ、目下其善後策ニ付テ、攻究中デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、順當トカ圓滑ト云フコトハ申シテ居リマセヌ、

其善後策ニ付テ攻究中デゴザイマス、然ルニ其後條約期限ノ問題ニ付キマシテ遺憾ナガラ米國政府ノ主張モ一理アルノデアリマスカラ、先ヅ我帝國政府ノ解釋通り昨年七月ヲ以テ他ノ列國トノ條約同様之ヲ廢棄スルコトハ見合セテ居リマス、續イテ善後策ノ攻究ヲ進メマシテ、其善後策ナルモノト、略シテ付ケルコトノ出來ル見込ハ今日ニ立ッテ居リマス、併シナガラ如何ナル方法デ其始末ヲ付ケルカト仰シタル、今日ハマダツレヲ明言シナイガ、其成行上ニ宜イト考ヘマスカラ、今日ハ申上ゲマセヌ

○議長(長谷場純孝君) 御諮リヲ致シマス、決算委員磯部保次君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ、同君ハ第二部選出ノ委員デアリマスカラ、同部ノ諸君ハ補缺選舉ノ上御居アラシコトヲ望ミマス、又帝國鐵道會計法中改正法律案外一件ノ委員山口熊野君、病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、其委員ハ議長指名ノ委員デアリマスカラ、其補缺トシテ村井善四郎君ヲ指名致シマス、又明治四十一年法律第十一號中改正法律案外一件委員東條良平君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ致シマス、而シテ其補缺トシテ、森國造君ヲ指名致シマス、議員世良靜一君ヨリ病氣ニ付、去ル二十二日ヨリ向フ十日間、東條良平君ヨリ病氣ノタメ今二十四日ヨリ三週間請假ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス、御質問モ盡キタヤウニ認メマス、議事日程ノ質問第一、第二ハ提出者カラ延期ヲ申出ラレマシタカラ、其通り致シマス議事日程第一、鐵道敷設法中改正法律案政府提出第一讀會ヲ開キ議案ノ朗讀ハ省略シマス、——山之内 一次君

第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項總武線、房總線及常磐線ノ部第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 福島縣下平ヨリ郡山ニ至ル鐵道

同項山陰線ノ部中「鳥取縣下境」ノ下ニ「及島根縣下杵築」ヲ加フ

第七條第一項第十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 常磐線定線ノ内福島縣下平ヨリ郡山ニ至ル鐵道

同項第十三號中「舞鶴ヨリ今市ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ鳥取縣下境

ニ至ル鐵道」ヲ「舞鶴ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道、山口縣下山口ヨリ小郡ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ鳥取縣下境及島根縣下杵築ニ至ル鐵道」ニ改ム

同項第十八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 四國豫定線ノ内德島縣下德島ヨリ同豫定線第一號ノ線路ニ接續スル鐵道中德島縣下川田ヨリ池田ニ至ル鐵道

同項第二十號中「宇佐ヨリ大分ニ至ル鐵道」ヲ「宇佐ヨリ佐伯ニ至ル鐵道」ニ改ム

(政府委員山之内 一次君登壇)

○政府委員(山之内 一次君) 鐵道敷設法中改正法律案ヲ提出致シマシテ理由ハ之ヲ簡單ニ申シマスルト、我鐵道系統上四十四年度カラ、新ニ數種ノ敷設路ヲ著手スルコトノ必要ヲ認メマシタ結果ニ外ナラヌデゴザイマス、即チ未ダ敷設法中ニ掲ゲテゴザイマセヌトコロノ、郡山平間、竝ニ今市杵築間ツレカラ、豫定線ニ既ニ掲ゲテアリマス中ノ即チ山陽線ノ中デ、今市カラ濱田間、ツレカラ小郡山口間、次ハ四國線ノ中デ德島縣下ノ川田カラ池田間、ツレカラ又九州線ノ中デ大分佐伯間ヲ新ニ敷設致シマスルコトノ必要ヲ認メマシタ故ニ、此郡山平間竝ニ今市杵築間ハ敷設法ノ豫定線、竝ニ第一期線ニ加ヘルノデゴザイマス、ツレカラ又其外ノ先キニ申シマシタトコロノ、線路ハ既ニ豫定線ノ中ニハ載ッテ居リマスカラ、之ヲ第一期線ニ追加致シマスルニ外ナラヌデゴザイマシテ、即チ是ハ豫算ト關係ヲ持ッテ居ル問題デゴザイマスカラ、ドウゾ審議ノ上速ニ御協賛アラシコトヲ希望スルノデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御質問ハナイト認メマスカラ、日程第二右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○菅原傳君 本案ハ帝國鐵道會計法中改正法律案外一件ノ委員ト同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ既ニ選定セラレタル帝國鐵道會計法中改正法律案外一件ノ委員ト同一委員ニ付託スルコトヲ云フコトノ動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス日程第三、公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第三 公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル法律案

公共團體ノ經營ニ係ル工事ニ對シ國庫ヨリ其ノ經費ヲ補助スル場合ニ於テ

明治四十三年勅令第三百二十九號

勅令第三百二十九號

第一條 朝鮮ニ於ケル臨時恩賜ハ明治四十三年勅令第三百二十七號ニ依リ

發行シタル國債證券ヲ以テ下付ス

前項ノ國債證券ハ記名式トス但シ政府ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルト

キハ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第二條 前條ノ記名國債證券ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓渡又

ハ質入スルコトヲ得ス

第三條 元金償還、利子仕拂、證券及登錄ニ關スル取扱手續ハ大藏大臣之

ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十號

勅令第三百三十號

明治四十三年勅令第三百二十六號ニ依ル豫算ニ關スル會計ノ經理及舊韓國

政府ニ屬シタル財産ノ管理ニ關シテハ當分ノ内從前ノ例ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十一號

勅令第三百三十一號

第一條 朝鮮ヨリ内地、臺灣及樺太ニ貨物ヲ移入スルトキハ輸入税ト同率

ノ移入税ヲ課シ朝鮮ヨリ入港スル船舶ニハ噸税ヲ課ス

第二條 移入税ニ關シテハ關稅法、關稅定率法、保税倉庫法及稅關假置場

法ヲ噸税ニ關シテハ噸稅法ヲ準用ス

第三條 朝鮮ヨリ移入スル貨物中外國ヨリ輸入スル場合ニ於テ内國稅ヲ課

スヘキモノアルトキハ外國ヨリ輸入スルモノニ準シ内國稅ヲ課ス

第四條 外國ニ輸出スル貨物ニ關シ内國稅ヲ免除若ハ下戻シ又ハ交付金ヲ

下付スルコトヲ定メタル規定ハ之ヲ朝鮮ニ移出スル貨物ニ準用シ外國ヨ

リ輸入シタル貨物ニ關シ輸入税ヲ下戻スヘキコトヲ定メタル規定ハ之ヲ

本令ニ依リ移入税ヲ課セラレタル貨物ニ準用ス

第五條 内國稅法中同法ヲ施行セサル地ヨリ同法施行地ニ貨物ヲ移入スル

コトヲ禁止シタル規定ハ朝鮮ヨリ移入スル貨物ニ之ヲ適用セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十三號

勅令第三百三十三號

内地、臺灣及樺太ト朝鮮トノ間ニ出入スル船舶及物件ノ檢疫及取締ニ關シ

官報號外 明治四十四年一月二十五日

衆議院議事速記録第四號

議事日程第五乃至第二十七ノ件

四一

テハ別ニ法令ヲ以テ規定スル迄從前ノ例ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十六號

勅令第三百三十六號

第一條 本令施行前特許法、意匠法又ハ實用新案法ニ依リ發生シタル特許

權、意匠權又ハ實用新案權ノ效力ハ朝鮮ニ於テ同一ノ事項ニ付特許權、意

匠權又ハ實用新案權ヲ有スル者アル場合ニ於テハ朝鮮ニ及ハサルモノト

ス

第二條 韓國特許令、韓國意匠令又ハ韓國實用新案令ニ依リ發生シタル特

許權、意匠權又ハ實用新案權ハ特許法、意匠法又ハ實用新案法ニ依リ發生

シタルモノト看做ス

前項ノ特許權、意匠權又ハ實用新案權ノ效力ハ本令施行前同一ノ事項ニ

付特許法、意匠法又ハ實用新案法ニ依リ發生シタル特許權、意匠權又ハ實

用新案權ヲ有スル者アル場合ニ於テハ朝鮮以外ニ及ハサルモノトス

第三條 本令施行ノ際同一人ニシテ同一發明ニ付特許法及韓國特許令ニ依

リ發生シタル特許權ヲ有スルトキハ其ノ存續期間ノ短キモノハ消滅スル

モノトス

第四條 特許法ニ依リ發生シタル特許權ノ效力ハ朝鮮ニ於テ、第二條第一

項ノ規定ニ依ル特許權ノ效力ハ朝鮮以外ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル

モノニ及ハス

一 本令施行ノ際現ニ其ノ發明實施ノ事業ヲ爲シ若ハ設備ヲ有スル者又

ハ其ノ承繼人ノ特許發明ノ實施

二 本令施行ノ際現存スル物及前號ニ依リ製作シタル物

第五條 韓國特許令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ特許法ニ

依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六條 前三條ノ規定ハ意匠又ハ實用新案ニ關シ之ヲ準用ス

第七條 韓國特許令、韓國意匠令及韓國實用新案令ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十七號

勅令第三百三十七號

第一條 本令施行ノ際同一人ニシテ同一商品ニ使用スヘキ類似商標ニ付商

標法及韓國商標令ニ依リ發生シタル商標權ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ商

標ハ聯合商標トス

第二條 商標法ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮ニ於テ、韓國商標令ニ依リ

發生シタル商標權ハ朝鮮以外ニ於テ本令施行後六月間ハ其ノ商標ト同一

又ハ類似ノ商標ヲ使用シタル商品ヲ交付若ハ販賣シ又ハ交付若ハ販賣ノ目的ヲ以テ所持スル者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三條 商標カ商標法第二條第四號又ハ第五號ニ該當スル場合ニ於テハ商標法ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮ニ於テ、韓國商標令ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮以外ニ於テ其ノ效力ヲ有セス

第四條 明治四十三年勅令第三百三十六號第一條乃至第三條及第五條ノ規定ハ商標ニ關シ之ヲ準用ス

附則

第五條 韓國商標令ハ之ヲ廢止ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十八號

勅令第三百三十八號 韓國著作權令ニ依ル登録ハ之ヲ著作權法ニ依ル登録ト看做ス

韓國著作權令ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第四百六號

勅令第四百六號 第一條 朝鮮總督府ノ會計ハ特別トシ其ノ歳入及一般會計ノ補充金ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ

第二條 前條ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ毎年朝鮮總督府特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

附則

第四條 本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 鐵道、森林、平壤鑛業所及公債金ノ特別會計並通信ノ會計ニ付テハ明治四十三年度分限リ仍從前ノ例ニ依ル

第六條 舊韓國政府ニ屬シタル債權及債務ニシテ本令施行ノ際現存スルモノハ本會計ニ移屬ス

第七條 明治四十三年勅令第三百二十六號ニ依ル豫算ニ關スル會計年度ハ明治四十三年九月三十日ヲ以テ終結ス

前項ノ豫算ニ計上シタル一時借入金ハ本會計ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第八條 前條ノ歳入歳出並統監府及其ノ所屬官署ニ係ル歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ明治四十三年十二月三十一日迄ニ悉皆完結スヘシ

第九條 第七條ノ經費並統監府及其ノ所屬官署ノ經費ノ支辨ニ屬スル工事又ハ製造ニシテ明治四十三年九月三十日迄ニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ本會計ニ移シ之ヲ使用スルコトヲ得

第十條 前條ノ經費支辨ノ諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ又ハ仕拂義務ヲ生シ明治四十三年九月三十日迄ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ本會計ニ移シ使用スルモノトス

第十一條 第七條ノ會計ノ過不足ハ之ヲ本會計ニ移シ整理ス

○松田源治君 本員ハ一昨日桂總理大臣ニ施政ノ方針ニ付キマシテ、説明ヲ求メマシタガ、其説明ヲ求メタイト云フ事項ハ朝鮮併合ト憲法ノ關係ニ付テ求メタノデゴザイマス、其時分ニ桂總理大臣ハイッレ緊急勅令及憲法七十條ノ財政處分ヲ爲シタルコトニ付テハ、各議會ニ承諾ヲ求ムルタメニ提出シテ居ルカラ其際ニ臨時議會ノ召集ガ出來ナカッタコト事情ニ付テハ、詳細ニ辯明ヲスルト云フ約束デアリマスカラ、此際桂總理大臣ノ出席ヲ求メ、本會ニ於テ其辯明ヲ聽キタイノデゴザイマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ拍手起ル

〔政府委員安廣伴一郎君登壇〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今總理大臣ハ豫算委員會ノ方ニ御出席ニナッテ居リマシテ、此方ニ御出デニナリマセヌカラ、私カラ……

○松田源治君 是ハ重大デスカラ、桂總理大臣ノ……

○議長(長谷場純孝君) 先ヅ御聽キニナッテ宜イデセウ、何ント言ハレルカ……

○政府委員(安廣伴一郎君) 本件ニ關シマシテハ、先日總理大臣ヨリ御説明ニナリマシタ通り、日韓併合條約ノ締結ト同時ニ、韓國ハ我領土ノ一部分ヲ形成スル次第デアリマシテ、ソレト同時ニ帝國ノ法律ガ新領土ニ向ッテ、其效力ヲ及ボシマス譯デアリマス、併ナガラ風俗人情ヲ異ニ致シテ居ルコロノ、此新領土ニ向ッテ同一ノ法律ヲ以テ律スベカラザルコトハ、明カナル次第デアリマス、因デ此事ハ一日モ忽セニスルコトハ出來ヌ次第デアリマスカラ、政府ハ憲法ノ條項ニ遵由致シマシテ、緊急ノ處置ヲ取リマシタ次第デアリマス、御承諾アラント希望致シマス

○花井卓藏君 本期ノ議會中ニ於キマシテ、最も重要ナル問題ハ即チ今御紹介ニ相成マシタル承諾案ノ幾多デアリマス、而シテ此承諾案ノ中ニハ立法上ノ非常命令權モゴザイマス、又財政處分ニ關スル非常命令權モアルデアリマス、ノミナラズ憲法アリシヨリ以來未ダ曾テアラザル緊急勅令ヲ以テ委任立法ヲ授ケルト云フガ如キ、最も違例ナルコロノモノモアルデアリマス、吾ミガ憲法ニ依ッテ授ケラレタルコロノ立法ノ大變例ニ屬シテ居ルノデゴザイマス、此ノ如キ重大ナル問題ニ向ッテ内閣大臣一人モ出席スルコトナクシテ、微々タル屬僚ヲシテ此説明ヲナサシムルト云フコトハ、實ニ許スベカラザルコト、本員ハ信ズルノデゴザイマス、私ハ多ク言フヲ欲シマセヌ、又帝國議會ニアラザレバ有スルコト能ハザル立法權ノ變例ヲ取リタル、變道ヲ取リタル其説明ヲ爲スト云フコトハ、閣臣總テノ責任ニ係ルコト、信ジマス、憲法布カレテヨリ以來二十三年議會開カレテヨリ以來二十七年、未ダ曾テ今回ノ如キ大變例ノモノヲ出サレタコトハナイノデゴザイマス、故ニ本員ハ閣臣ノ總テノ出席ヲ得マシテ此説明ヲ得マスルマデハ、此案ヲ延期スルト云フ動議ヲ提出シマス

○高木正年君 私も松田君花井君ノ唯今ノ御發言ニ贊成スル者デアリマス、此委任立法ノ緊急勅令中ノ三百二十四號ノ緊急勅令ハ、非常ニ重大ナルモノデアルト云フ

コトヲ知ラネバナラス、唯今花井君ノ言ハレタ如ク、單ニ立法ヲ委任スルコト云フバカリデハ
ナイノデアリマス、此三百二十四號ノ勅令第三條ヲ一讀シ來リマスレバ、如何ニ此勅令
ガ帝國憲法ヲ蹂躪シツ、アルカヲ考ヘネバナラス、此第三條ニハ斯様ナコトガアル、朝鮮
總督ハ緊急ナ場合ニ於テハ命令ヲ發スルコトヲ得、此命令ハ命令ヲ發シテ後勅裁ヲ受
ケ、若シ勅裁ヲ得ザルトキハ、其將來ニ於テ效力ヲ失フコトヲ云フコトガ書イテアル、臺灣律
令六十三號ノ如キモノニモ、斯様ナコトハナイノデアリマス、是ハ單リ立法ヲ委任スルバカリ
デナクシテ、緊急勅令ノ存續ヲ委任スルコト云フ重大ナル事件デアル故ニ、今日ノ場合
ニ於テハ之ヲ延期シテ、花井君松田君ノ言ハレル通り、閣臣全部出席ノ上ニ於テ、之
ヲ討議シタク思フノデアリマス

○菅原傳君 是等諸問題ハ實ニ重要ナル問題ト思フノデアリマスカラ、此問題ヲ議ス
ルニ當リマシテハ、是非總理大臣ノ出席ヲ望ムノデアリマス、若シ出席セスト云フ場合ニハ、
更ニ決議等モ致スデアリマセウガ、先づ第一ニ出席ヲ希望致スト云フ動議ヲ提出致シマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) ソレデハ、大臣ノ出席ヲ求ムルト云フコトニ御異議ガナイト
認メマス、直ニ豫算委員會ニ居ラレマスカラ、通知ヲ致シマス、暫ク……御諮リヲ致シマ
スガ、大臣ノ來ルマデハ此問題ハ是デ保留シテ置イテ議事日程ガ、マ一ツ殘リテ居リマス
カラ、之ヲ議題ニ致シテ進メヤウト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 國稅徵收法中改正法律案根岸岨太郎君外四名提出第
一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十九 國稅徵收法中改正法律案(根岸岨太郎君 第一讀會
外四名提出)

國稅徵收法中改正法律案

第五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項徵收ノ費用トシテ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘ
シ

附則

本法ハ明治四十四年度分ヨリ之ヲ施行ス

(根岸岨太郎君登壇)

○根岸岨太郎君 滿場諸君、私ハ茲ニ明治三十年法律第二十一號國稅徵收法中
第五條ノ二項ニ「前項地租徵收ノ費用ハ市町村ノ負擔トシ其他ノ國稅ハ其徵收金額
ノ百分ノ四ヲ其市町村ニ交付スヘシ」トアリマシテ、市町村ニ於テ徵收致シマスルトコロノ
國稅中、地租徵收ニ對シテハ、更ニ交付金ガアリマセヌカラ、之ヲ改正致シマシテ、「前項徵
收ノ費用トシテ其徵收金額ノ百分ノ四ヲ、其市町村ニ交付スヘシ」ト云フコトニ致シテ、
附則ニ「本法ハ明治四十四年度分ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトニ致シマシテ、地租徵收
ニ對シマシテモ、他ノ營業稅ヤ所得稅其他ノ國稅ト同様ニ百分ノ四ノ交付金ヲ明治四
十四年度ヨリ爲スト云フコトニ致シタク、即チ此國稅徵收法中改正法律案ヲ提出致シ

タ次第デアリマス、因テ聊カ其理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、抑、此國稅徵收法、第五條第
三項程不當偏頗ナル法律ハ恐ラク他ニナイト思フノデアリマス、如何トナレバ市町村ヲシ
テ徵收送附ノ責任ヲ負ハスルトコロノ國稅中、獨リ地租ニ對シテノミ交付金ヲ爲サナイ
ト云フ理由ハ私ハドウシテモ發見スルコトガ出來ナイノデアリマス、或ハ政府ハ此地租徵
收ハ古來ノ習慣上、其市町村ノ義務トナッテ居ッテ、今モ尙其情力デアル、二ツニハ國庫
ニ餘裕ガナイ、此二ツノ理由ガアルト申サレマスケレドモ、習慣上ノ情力ナラバ如何ナル不
當ノコトデモ、改メズシテ宜シト云フ理由ハアルマイト思フ、殊ニ第二ノ理由ノ如キ國庫
ニ餘裕ガナイト云フガ如キコトハ、決シテ此地租徵收ニ對シテ交付金ヲ爲サズシテ宜シ
ト云フ理由ニハ見ラレナイト思ヒマス、却テ寧ロ不公平ニナッテ居ルト云フコトヲ言譯ラ
スルヤウナコトデアラウト思ヒマス、ソレデ此徵收費用ニ付テ見マスルナラバ、百分ノ四ノ交
付金ヲサル、トコロノ營業稅ヤ、所得稅其他ノ國稅ハ皆稅務署ガ國庫ノ費用ヲ以テ、
一人別ニ其納稅額ヲ取調ベテ、徵稅令書ニ添ヘテ市町村役場ニ送附スルノデアリマ
ス、市町村役場ハ此送附セラレタルコロノ調書ヲ土臺トシテ、徵稅傳令書ヲ作ッテ、各
納稅人ニ配付シテサウシテ徵收スレバ宜シノデアッテ、割合ニ手數モ費用モ少イノデア
ル、而シテ其納期ハト申シマスレバ、僅ニ二回デ済ムノガアリ、多イノガ四回デ済ムノデア
ル、地租ノ徵收ニ付キマシテハ、ナカク「サウ容易イ譯ニ往カナイノデアリマス、御承知ノ
通り市町村役場ハ、常ニ土地ノ名寄帳ヲ備ヘテ置キマシテ、所有權ノ移動ガアレバ、一
筆移動致シマシテモ、賣主買主雙方ノ名寄ヲ直サナケレバナリマセヌ、又地目ノ變換ガア
レバ、ヤハリ甲ノ地目ヲ除イテ、乙ノ地目ヘ加ヘナケレバナラヌト云フ二重ノ手數ガ
掛ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ年中名寄ヲ訂正シテ、置イテ納期ニ至リマスルト稅務署
カラ徵稅令書ガ參リマス、其令書ニハ外ノ徵稅令書トハ違ヒマシテ、市町村ノ合計金額
ヲ何千何百圓トシテ記載シタルゲデアッテ、各納稅人ノ調ハナイノデアリマス、ソレデ
アリマスカラ、此合計金額ガ名寄帳ノ合計トキチント符合スレバ宜シクゴザイマスガ、時
シテハ神ナラヌ人ノシタコトデアリマスカラ、符合シナイコトガアル、其時分ニハ全部ノ名寄
ニ就イテ、調査シナケレバナリマセヌ、全部ノ名寄ヲ調査致シマシテモ、尙役場ゲケハ其間
違フ發見スルコトガ出來ナイ場合ニハ、其名寄帳ヲ態稅務署ニ持參シテ、稅務署ニ備
ヘタルコロノ土地臺帳ト一筆ツ、突合セラ致シテ、漸ク其誤ヲ發見シテ、完全ノ名寄
帳トナッテ、其名寄帳ニ依ッテ、徵稅傳令書ヲ作ッテ各納稅人ニ配付スルノデアッテ、實
手數ハ非常ナモノデアリマス、ソレデ其納期ハ申シマスルト、御承知ノ通りハ回ノ多キニ分ッ
テ居ル、其納稅人ハ五厘、一錢ト云フ所カラ始マリマシテ、實ニ非常ノ多數デアリマス、
ソレノミナラズ他ノ市町村ニ於テ土地ヲ所有スル者ニ向ッテハ、越シ石ト稱ヘマシテ、ソレ
ニ向ッテモヤハリ徵稅傳令書ヲ發スルノデアリマスカラシテ、非常ニ其人員ガ多イノデアリ
マス、故ニ二期ノ徵稅ヲ致シマシテモ、一日ヤ二日デ徵收ガ済ム譯ニハ參リマセヌ、ドウ
シテモ五日モ一週間モ時日ヲ要スルノデアリマス、其間役場ニ保管スルニ付テハ、地租
ヲ主トシテ納ムルヤウナ所ハ、多クハ邊鄙ナ所デアリマスカラシテ、相當ノ番人ヲ付シテ警
戒ヲシナケレバナリマセヌ、又之ヲ稅務署所在地ノ國庫金取扱所ニ送附スルニ付イテ
モ、途中方一危險ヲ慮ッテ警戒ヲシナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ッテ、實ニ此徵
收ニモ保管ニモソレソレノ費用ヲ支出シテ居ルノデアリマス、ソレデモ尙時トシテハ或ハ此

徵收ノタメニ、役場吏員が殺害サレルトカ、強竊盜ノタメニ其金ヲ奪ヒ去ラレルトカフコトが、往々アルノデゴザイマス、近クハ和歌山縣ノ那賀郡ノ田中村ニ於テ、收入役が地租徵收中ニ殘殺サレタト云フヤウナ事實ガアルノデゴザイマス、斯ウ云フ次第デゴザイマスカラシテ、地租徵收ニ對シテハ外ノ國稅ノ徵收ヨリモ、ヨリ以上ノ手數ヲ費用ヲ要スルコトハ判然明瞭ナル事柄デアッテ、一點ノ疑ハナイノデアリマス、然ルニ此地租徵收ニ對シテ更ニ交付金ヲシナイト云フ法律ニナッテ居ルノデアルカラ、之ヲ指シテ不當偏頗ノ法律デアルト申シマシテモ、敢テ過言デハナイト私ハ信ズルノデアリマス、論者或ハ全國一般ニ地租ニハ交付金ガナイノデアルカラシテ、不當デモ偏頗デモナカラウト云フヤウナコトヲ言ハレカ知リマセヌケレドモ、ソレハチヨット道理ノヤウデアッテ、事實ハ甚ダ違フノデアリマス、此地租ヲ主トシテ納メルヤウナ處ハ、多クハ貧弱ナル農村デアリマス、營業稅ヤ所得稅ヲ多ク納メル處ハ、繁華ノ有力ナル土地デアリマス、故ニ同ジ此地租ニ對シテ交付金ガナイト致シマシテモ、一方ハ非常ノ苦痛ヲ感ズル、一方ハ左程ノ苦痛ヲ感ズナイト云フ相違ガアルノデアリマス、サウ云フ(簡單)ト呼フ者アリ(ソレデモ尙一般デアルカラ相當デアルト云フナラバ之ヲ喻ヘテ申シマスナラバ、三歲兒ニモ、大人ニモ同ジ目方ノ物ヲ負ハセテ、一方ハ身動キモ十分ニ出來ナイ、一方ハ(分ッた)呼フ者アリ)其重サヲ感ズナイト云フノデモヤハリ公平デアルト云フト同様デアッテ、何人モ之ヲ尤ナリト贊成スル者ハナカラウト思ヒマス、ソレデモ今日ノ農村ノ狀態ハ段々疲弊シテ來ル、土地ノ人民ハ都會地ニ轉居セントスル考ヲ持ツモノガ、段々多クナッテ參リマス、是ハ寔ニ農村ノタメニ又國家ノタメニハ宜シクナイ現象デアルト思ヒマス、サウ云フ町村ハ、役場員ノ如キモ僅ニ一箇月五圓カ六圓ノ薄給デ、財産ノアルモノガ義務的ニ勤メネバナラヌト云フヤウナ狀態ニナッテ居ル、是レ皆國庫ノ交付金即チ地租徵收ガ、サウ云フ村ノ大部分ノ事務ニナッテ居ルニモ拘ハラズ、是ニ對スル交付金ガナイト云フコトガ、大原因ヲ爲シテ居ルノデアルト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、斯ク申シマスルト、中ニハソレハ交付金位ヲ非常針小棒大三云フノデハナイカト思召スカモ知レマセヌケレドモ、決シテサウデアリマセヌ、此交付金ハ地租ニ對シテ一箇年約三百餘萬圓ニナリマス、ソレデ各府縣ノ地方稅地方稅此處デ申シマスルノハ、オカシヤウデアリマスケレドモ、此國稅徵收法ガ基礎ニナッテ居ル關聯問題デアルカラ、チヨット申上ゲマスルガ、各府縣ノ地方稅モヤハリ地租割ニ對シテハ外ノモノハ皆百分ノ四ノ手數料ヲ交付スルニモ拘ハラズ、地租割ニ對シテハ更ニ交付金ガナイノデアリマス、之ガ假ニ地租ノ半額ト見積リマシテ、一箇年百五十萬圓ニナリマス、此一口ヲ合計致シマス、一箇年四百五十萬圓ノ高ニナリマス、之ヲ今日マデ年々積ミ來ッテ相當ノ私殖ヲシタモノトシテ積算スルナラバ、實ニ數億ノ大金ニナリマス、是ヲ地租ノ標準トシテ交付シタナラバ、貧弱ナル農村ハ割合ニ經濟ガ小サイカラシテ、忽チ之ガタメニ基本金ガ出來ル、自治ノ活動モ出來ル、不景氣モ恢復スルト云フコトハ、私ガ保證シテ疑ハヌノデアリマス、シテ見マシレバ、此交付金ガナイタメニ貧弱ナル農村ノ自治ノ發達ヲ害セラレテ、非常ニ困難シテ居ル申シマシテモ、敢テ針小棒大ノコトデハナイト思フノデアリマス、併ナガラ今日國庫ノ經濟ト致シマシテハ、既往ニ溯ッテ之ヲ交付スルト云フコトハ出來ヌコトデアリマセウガ、將來ハ是非トモ此地租徵收ニ對シテモ、他ノ國稅同様ノ交付金ヲ爲スト云フコトヲ改メタイノデアリマス、今國庫ニ餘裕ガナイト

申シマシテモ、五億數千萬圓ノ收支ノ上カラ諸君ノ御盡力ニ依リマシレバ、僅ニ三百萬圓位ノ操合セハ必ズ出來得ルコトデアルト確信スルノデアリマス、ドウカ滿場ノ諸君、奮ッテ此目的ヲ貫徹スルヤウ御盡力アラントラ偏ニ希望致シマス

○菅原傳君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレントラ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセヌカラ其通り決シマス、今内閣員モ列席ニナリマシタカラシテ、前ニ宣告致シマシタ日程ノ第五、第七、第九、第十一ヨリ第二十ニマデ即チ朝鮮ニ關スル事後承諾ヲ求ムル議案ヲ一括シテ議題ニ付シマス

- 第五 明治四十三年勅令第三百二十四號(承諾ヲ求ムル件)
- 第七 明治四十三年勅令第三百二十六號(承諾ヲ求ムル件)
- 第九 明治四十三年勅令第三百二十七號(承諾ヲ求ムル件)
- 第十一 明治四十三年勅令第三百二十八號(承諾ヲ求ムル件)
- 第十三 明治四十三年勅令第三百二十九號(承諾ヲ求ムル件)
- 第十五 明治四十三年勅令第三百三十號(承諾ヲ求ムル件)
- 第十七 明治四十三年勅令第三百三十一號(承諾ヲ求ムル件)
- 第十九 明治四十三年勅令第三百三十三號(承諾ヲ求ムル件)
- 第二十一 明治四十三年勅令第三百三十六號(承諾ヲ求ムル件)
- 第二十三 明治四十三年勅令第三百三十七號(承諾ヲ求ムル件)
- 第二十五 明治四十三年勅令第三百三十八號(承諾ヲ求ムル件)
- 第二十七 明治四十三年勅令第四百六號(承諾ヲ求ムル件)

(内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇)

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 本官ハ御承知ノ如ク豫算委員會總會ガ先刻カラ開カレテ居リマシテ、丁度大藏省所管ノ件ニ付キマシテ種々ナル質問又意見等モ委員會會デ出マシテ、ツヒツレガタメニ此重大ナル緊急勅令其他ノ事後承諾ヲ得ルノ議題ガ當議場ニ上リマシタ際不在デゴザイマシタタメニ、次ノ日程ニ回サレルヤウナ次第第二相成リマシタノハ、甚ダ右様ナ次第デ、茲ニ不在ヲ致シテ居ッタト云フコトヲ先以テ諸君ニ御斷リ致シテ置キマス、諸君 唯今日日程ニ相上リマシタコロノ緊急勅令等先般モ一通リ申述ベテ置キマシタ如ク、誠ニ此併合ハ緊急已ムラ得ザル至急ヲ要シマシタ場合デゴザイマシテ、緊急勅令及其他ノ財政等ノ處分ニ付キマシテモ、憲法ノ第八條若クハ七十條ニ則リマシテ緊急ノ處分ヲ仰ギマシタ次第デゴザイマス、其事情其當初ノ情勢ニ付キマシテハ、宜シク御諒察ヲ下サレマシテ、速ニ此緊急勅令ニ御協贊アラントラ希望シテ已マヌノデアリマス

○松田源治君 今ノ御説明ニ於キマシテハ要領ヲ得マセヌノデアリマスガ憲法ノ八條ニ據リマスル處分ハ緊急ノ必要ガアレバ、憲法第八條ニ據ッテ政府ハ處分シテ宜シイノデアリマスケレドモ、財政上ノ必要ノ處分ハ緊急已ムラ得ザル場合ニ於テハ臨時議會ヲ

召集スヘシ、臨時議會ヲ内外ノ情形ニ依テ召集スルコト不能ナル場合ニ限ツテ、初メテ財政上ノ處分ヲ爲スコトヲ得ルノデゴザイマス、本員ノ開カント欲スルコロハ緊急已ムヲ得ザル場合デアッタト云フコトモ、緊急勅令ノ事後承諾ヲ議スルニ付テハ必要デアリマセウケレドモ、緊急勅令ヨリモ憲法第七十條ノ處分ナルモノハ尙一層ノ戒心ヲ要シテ政府ニ慎重ヲ憲法ノ處分ニ依テ望シテ居ルノデゴザイマス、總理大臣ノ説明ノ如ク緊急已ムヲ得ザルモノナラバ、進シテ臨時議會ヲ召集スルガ憲法ノ命ズルコロデアアル内外ノ形状ニ依テ臨時議會ヲ召集スルコト能ハザルトキニ限り、初メテ財政上ノ必要ノ處分ヲ爲スト云フコトハ憲法ノ明文上昭々乎トシテ日星ノ如キモノデアラウト思フノデゴザイマス、デアリマスカラ私ノ問ハント欲スルコロハ緊急ノ事情ガアッタト云フコトヲ總理大臣ハ申スガ、緊急ノ事情ガアルナラバ臨時議會ヲ進シテ開クベシ、内外ノ形状ニ依テ、臨時帝國議會ヲ開クコトガ出來ナカッタ即チ不能ナル事實ハ斯クナ事實デアルト云フコトヲ、斯ル憲法上ノ大問題ヲ決シタル政府ニ於テハ具體的ニ事實ヲ述ベテ、斯ル事實ニ依テ内外ノ情形ハ臨時議會ヲ召集スルコトガ不能デアッタト云フコトヲ親切ニ切實ニ具體的ノ事實ヲ本議會ニ述ベルガ當然ト思ヒマスカラ、憲法七十條所謂内外ノ情形ニ因リ、臨時議會ヲ召集スル能ハザルトキノ具體的ノ事實ヲ詳細ニ御述ベニナランコトヲ、第一ニ要求スルノデアリマス、第二ト致シマシテハ、他ノ勅令ノ事後承諾ノコトニ付キマシテモ、説明ヲ求メタイガ、ツレハ委員會ニ讓リマシテ、最モ重大ナル勅令三百二十四號、即チ立法委任ノ緊急勅令デゴザイマスガ、此勅令三百二十四號ノ立法委任ノ緊急勅令ヲ發シタノハ、餘リ帝國議會ヲ無視シタリ方デハナカラウカト思フノデアリマス、翻テ此臺灣ノ時分ノ狀況ヲ調ベ見マスレバ、臺灣ノ場合ニ於キマシテハ、明治二十七八年戰役ガ終ルヤ、直ニ臺灣ハ我國ノ領有ニ歸シタノデゴザイマス、併シ時ノ政府ハ桂内閣ノ如ク立法協贊權ヲ無視セズシテ、直ニ緊急勅令ヲ以テ委任立法ヲ規定セズシテ、徐ロニ明治二十九年ノ第九回ノ帝國議會ヲ開ケルヲ待ツテ、法律案ヲ提出シテ議會ノ協贊ヲ求メ、明治二十九年ノ三月ノ三十一日ニ、法律第六十三號トナッテ發布サレタノデアアル、朝鮮ヲ統治致スニ付テ、殆ド憲法違反ノ嫌ガアル世ノ學者ニ於テモ——世ノ憲法學者者ニ於テモ立法委任ハ憲法違反デアルト云フ説ガアル、此重大ナル立法委任ヲ爲スニ付テ、帝國議會ノ臨時議會ヲモ開カズ、普通議會ヲモ俟タズシテ、直ニ此臺灣ノトキノ先例ト違フコロノ緊急勅令ヲ發シタノハ如何ナル理由ニ基キタノデゴザイマス、本員ノ考ヘニ依リマシテ、政府ノ當然ノ處置トシテハ先ヅ一ツノ緊急勅令ヲ發シテ當分朝鮮ニ行ハル、法律ハ當分效力ヲ有スルコト云フ緊急勅令ヲ發シタナラバ、此二十七議會ノ開會ヲ俟ツテ徐ロニ朝鮮ノ統治委任ニ付テハ法律案ヲ提出シテ、吾々ノ協贊ヲ求メタ方ガ當然ノ處置ト信ズルノデゴザイマス、憲法政治ハ申スマデモナク、極ク窮屈ナル政治デアアル、毫モ此間ニ武斷專制ト云フコトヲ許サズノデアアル、極ク規則ヲ以テ詰メテ憲法ノ條規ニ依テ束縛シテ極ク窮屈ナル政治ヲスルノハ憲法政治ノ常デアアル當局者ハ緊急勅令ニ依テ委任立法權ヲ授クナラバ、隨分融通ガ利イテ窮屈デハナイ、融通ガ利ケレドモ是レ憲法ノ精神ニ反スルカラシテ窮屈デアアル、此二十七議會ノ開ケルヲ持ツテ徐ロニ斯ル重大ナル問題ハ解決スルガ當然トスルニモ拘ラス、直ニ他ノ緊急勅令ト同一ニ重大ナル立法委任ニ關スルコロノ緊急勅令ヲ發セラレタノハ、政府

ノ帝國議會ノ立法權ヲ無視スルヤウナ嫌ヒガアルト本員ハ考ヘルノデアリマス、之ニ付テハ其時分ニ此立法委任ノ緊急勅令ヲ發スルニハ事情已ムヲ得ナイトコロノ事情ガアルカ、斯ル重大ナルコトニ付キマシテ、其事情ヲ詳細ニ説明ヲ求メタイ、此制令權ヲ政府ニ權力ヲ取りマシテ其後ニ朝鮮ニ出テタル勅令ヲ見マスレハ辯護士ノ資格ヲ剝奪スルコトカ、或ハ朝鮮ニ會社ヲ出シテ——武斷專制ノ會社ヲ出ストカ、或ハ三箇月以下ノ懲役ヲ警察署デ即決スルコト云フヤウナ、專制ノ法令ヲ出シタノミデ、其他ニ公益ヲナス朝鮮ノ統治ニ付テ必要已ムヲ得ザル制令ハ本員ハ未ダ出テ居ナイト考ヘマス、政府ハ何故ニ二十七帝國議會ヲ開ケルヲ待ツテ、此重大問題ヲ決シナカッタカ、是ガ本員ノ問ハントスル第二デアリマス、以上憲法上重大ナル問題デアリマスカラ、詳細ナル御答辯アラントコトヲ望ミマス

(内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇)

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今松田君ヨリ憲法七十條並ニ制令權ノコトニ付キマシテ、御質問ガデゴザイマシタ、此併合ノコトハ前々モ松田君ノ御質問ノデゴザイマス如ク、當議場ニ於テ申述ベマシタ通り、韓國政府ト條約ニ依テ相成リマシタコトデゴザイマス、ツレガタメニ内外ノ情勢又韓國ノ情勢ニ於キマシテモ、其併合當時ノ治安ヲ保チ又治安ヲ保ツ上ニ付キマシテハ、外ニ對シテモ最モ必要ナル場合デゴザイマス、之ガタメニ緊急ノ勅令ヲ仰ギマシテ、一方憲法八條ニ依リマシテ、處分ヲ致シタ次第デゴザイマス、當時此ノ如キ場合デゴザイマシタタメニ、財政ノ處分ニ付キマシテモ、内外ノ情勢最モ其緊急——至急ニ此處置ヲ致サナクテハナラヌトコロノ場合ニ際會致シマシタタメニ、政府ハ憲法七十條ニ依リマシテ、已ムヲ得ズ財政上ノ處分モ同時ニ仰ギマシタ次第デゴザイマス、又勅令ノ點ニ付キマシテハ、松田君ハ臺灣ノ我領土ニ編入ヲセラレタトキニモ、暫クノ間經テ後ニ帝國議會ニ法律ヲ提出シテ議會ノ協贊ヲ經テ、爰ニ至ッタデハナイカ、韓國ノ情勢モ亦サウハ出來ナカッタノデアアルカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタ、松田君モ御承知ノ如ク、臺灣ハ臺灣領土ノ——臺灣ガ我領土ニ編入ヲ致サレマシタ當時ハ軍政ガ施カレテ居リマシタ、丁度二十九年ノ六月幾日デアリマシタカ、私ガ初メテ臺灣總督トシテ參リマシタトキニ、所謂此法律ハ六十三號ヲ以テマシテ、初メテ總督ニナッテ參リタノデアリマス、其間ハ御承知ノ如ク軍政デアッタノデアアル、朝鮮ハ御承知ノ如ク、左様ナ處置ヲ取ル譯ニ參ラナカッタノデゴザイマス、ツレガタメニ已ムヲ得ズ是又右様ナ處置ヲ執リニヤナラヌ場合ニ至ツタノデゴザイマス、此邊ノ點ニ付キマシテハ宜シク御諒察ヲ下サツテ速ニ御承諾ヲ得ンコトヲ希望シテ已マヌノデゴザイマス、尙其他詳細ノコトニ付キマシテハ、願クハイッレ委員付託ニモナルコトデアラウト信ジマスカラ、委員會等ニ於キマシテ、其當時ノ詳シキ事情ハ本官又ハ其他ノ當局者ヨリ申述ベマシテ、諸君ノ御參考ニスル積リデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 花井卓藏君

○花井卓藏君 緊急勅令ノ性質ニ付キマシテ、大切ナル憲法上ノ事項ナルニ拘ハラズ、議員ト政府ト爭ツテ明白ナル解決ヲ得テ居リマセヌ、此明白ナル解決ヲ得マセヌガタメニ、常ニ屢々立法ノ變例ヲ濫用シテ此ノ如キノ命令ヲ濫發セラレル、モノデアルト信ジテ居リマス、此機會ニ於キマシテ、根本的ニ緊急勅令ニ關スル政府ノ見所ト議會

ノ見所トテ定メタイト信ズルアリマス、第一問シテ御尋ヲ致シマスノハ、此度提出ニナリマシタル、勅令第三百二十四號ナルモノハ、政府ハ非常ノ場合ニ於テ非常立法權ヲ行ヒタル事情ノ審査ヲ議會ニ求メ、而シテ責任ノ解除ヲ議會ニ請ハル、ト云フ主旨ナルカ、若クハ又此ノ如キノ觀念ハ緊急勅令ニ對シテ政府者ノ抱クモノニハアラズシテ、全ク此勅令ヲ其儘將來ニ效力ヲ持續セシメンガタメノ主旨ニ於テ提出セラレタノナルカ、責任解除ノ主義アルカ或ハ效力持續ノ主義アルカ、此點ニ於テ極メテ明白ナル御答ヲ得タイト思フ、此問題ハ學術問題トシテ爭アルニ拘ハラズ、政治上ニ於テハ全ク解決セラレテ居リマセヌ、居リマセヌカラ常ニ屢々安リニ此非常立法ヲ企テラル、如キ帝國議會ノ有スル正道ノ立法權ヲ蹂躪セラレテ居ル、之ヲ今日ノ機會ニ於テ定メテ置キタイト思フアリマス、第二ニハ緊急勅令ハ憲法上ノ觀念如何ニ拘ハラズ、法憲政治ト致シマシテハ、議會ハ勿論ノコト、政府ト雖モ、此立法手段ニ依ルト云フコトハ欲セラレザルトコロデアアラウト信ズルデアアル、已ムヲ得ザルガ故ニ行ハル、立法デアアラウト信ジテ居ル、此處ニ私ガ誠意ニ政府ノ意見ヲ聽カント欲スル點ガアルデアアル、御承知ノ通り緊急勅令ハ如何ニ議會ガ承諾ヲ與ヘマシテモ、法律トナルベキ性質ノモノデナイ、勅令ハ依然トシテ勅令デアアル、議會ハ之ニ承諾ヲ與ヘテ、而シテ後ニ此緊急勅令ノ力ト云フモノハ、憲法議會ノ外ニ治外法權ヲ保テ、既ニ議會ノ承諾ニ依ッテ、長ヘニ將來ニ效力ヲ有スル、之ヲ改廢スルニ付テハ、議會トハ沒交渉デアアル、憲法トハ沒交渉デアアル、得タル政府ノ自由自在デアアルト云フコトハ論ヲ俟タヌデアアリマス、私ハ此ノ如キコトハ憲法政治ノ政治機關トシテ政府ノ欲セザルトコロデアアラウト思フ、故ニ議會ニ於テ之ニ承諾ヲ與ヘザリシナラバ、政府ハ朝鮮ニ施行スベキ法令ニ關スル法律トモ名クベキモノヲ組立テラレテ、以テ立法ノ正道ニ復ル、而シテ此緊急勅令ニ代ルベキ立法手段ヲ御執リニナルベキモノト、私ハ信ジテ居ル、議會ハ承諾ヲ與ヘザリシ場合ニ於テハ、此ノ如ク信ジテ居ル、私ハ政府ニ向ッテ一言希望ガ述ベタイデアアル、議會ノ承諾ヲ與フルト否トニ拘ハラズ、立法ノ正道ニ顧ミ、今日既ニ議會ノ開カレテ居ルデアリマスカラ、此緊急勅令ノ通りニ法律案ヲ立デマシテ、議會ノ協賛ヲ御求メニナルト云フコトハ、洵ニ立憲大臣ノ立法ニ對スルコロノ誠意デアアルマイカト私ハ考ヘル、政府此ノ如キノ考慮ヲ有セラレ、ヤ否ヤト云フコトノ御尋ヲシタイ、御參考ノタメニ申上テマスルガ、何レノ議會デゴザイマシタルカ、本員ハ緊急勅令ニ對シマシテ、極力政府ト爭ツタコトガゴザイマス、而シテ素論ヲ貫徹センガタメ、試ニ法律案ヲ具シテ議會ニ提出ヲ致シマシタル、議會ハ之ニ承諾ヲ與ヘテ責任ノ解除ヲナシ、先ヅ政府ハ當然ノ處分ヲ同時ニ於テナシタモノデアアルト云フコトニハ、一旦ハ決定致シマシタルガ、越エテ數日、更ニ本員ノ提出致シマシタル法律案ヲ可決シテ、是ト同時ニ非常命令ヲ廢棄セラレタ、斯ウ云フ實例ガアル、是ハ政府モ同意セラレタコトニナッテ居ル、其途ニ出デラル、御存念ハナイデアアルカ、之ヲ實際問題トシテ今日承ッテ置キタイ、第一問ハ憲法上ノ措置トシテ政府ノ所見ヲ十分ニ承ッテ置キタイ、第二ハ實際問題トシテ當面ノ勅令案ニ就テ、私ガ申ス途ニ出デラル、ヤ否ヤト云フコトニ付テ、御尋ヲシナケレバナラス、第三ニ御尋ヲ致シマスルハ唯今松田君ノ最も熱心ニ御述ベニナリマシタル憲法七十條ノ問題、私ハ松田君ヨリハ更ニ一步ヲ進メテ、帝國議會アル場合ニ於キマシテハ、必ズ臨時召集ノ手續ニ出デザルベカラザルモノト、

條文ヲ解釋致スデアリマス「内外ノ情形ニ因リ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ」ト云ヘル文字ハ、或ハ兵亂ノタメニ議會アリト云フト雖モ、開ク能ハズ、或ハ解散ノタメニ議員無キノ故ヲ以テ開ク能ハズ、此ノ如キ場合ニ限定セラルベキモノデゴザイマシテ、兵亂モゴザイマセズ、解散モゴザイマセズ、帝國議會ノ議員ト云フモノハ、確ニ何等ノ差支ヘナクシテ召集ニ應ズベキ途ニ居ル場合ヲ指スベキモノデハナイト信ジマス、然ルニ七十條ノ處分ヲナサルニ當ッテ、憲法ノ法文ヲ示セル途ヲ履マズシテ、議會ヲ召集セラレナカッタノ如何ナル理由デアアルカ、斯ウ私ハ切實ニ法文ノ上ヨリ質問ヲ致シテ御答ヲ得タイト思ヒマス、尤モ此點ニ付キマシテモ、本員ハ經驗ヲ有シテ居ル、是ハ何レノ議會デアッタカ存ジマセヌ、ソレハ申サヌ方ガ宜イカモ知レヌ、三十七八年ノ役ノ際、外債三億圓ヲ募ラル、ニ當リマシテ、當時臨時議會召集不能ノ狀態ニハアラザリシニモ拘ハラズ、議會ヲ召集セズシテ、財政上ノ緊急處分トシテ、此外債ノ募集セラレシコトガゴザイマシタル、而シテ承諾ヲ議會ニ求メラル、ニ當ッテ、本員ハ絕對ニ之ニ反對ヲ致シマシタル、論ズルトコロハ唯今申ストコロノ如ク、松田君ノ論セラル、トコロノ如クデアアル、而シテ之ニ對シテ先輩元田肇君ノ本員ニ對スル反對論、而シテ長君、森君等ノ反對ノ論ハ、議場ニ勝リ制シテ、憲法七十條ノ讀方ハ松田君ノ讀マル、ガ如ク、本員ノ讀ムガ如キコト、ナラナカッタ惡先例ガアルデアアル、政府恐ラクハ此惡先例ニ隱レテ、憲法七十條ヲ解スルノ憂ナキヲ保セズデアリマス、併ナガラ曾テ此惡先例ヲ唱道セラレシトコロノ方ハ、松田君ニ依ッテ立派ニ本員ノ見ルトコロト同シヤウナ意見ヲ提出セラル、今日デアリマスルカラ、即チ政府モソレノ聲ニ倣ハレテ、此惡先例ニ隱レザランコトヲ望ムデアリマス、惡先例ヲ作リタル一派ノ人ガ、惡先例デアルト云フコトヲ明言セラレル以上ハ、是ハ先例トナスベカラズト云フコトモ、一言致シテ置キタイデアアル、桂總理大臣、寺內朝鮮總督ハ、現ニ御列席ノコトデアリマスカラ、此問題ニ關スル當局ノ任務ト致シマシテ、本員ヲシテ満足セシムルダケノ御答辯ヲ御與ヘ下サラレルトコロ切望致スデアリマス

(政府委員安廣伴一郎君登壇)

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今花井君ノ御質問デゴザイマスガ、是ハ法律ニ關係シテ居リマスカラ、私カラ御答ヲ致シマス、第一ノ御質問ニ係リマストコロ、此緊急勅令ヲ出シタルハ、責任解除ノ意味デアアルカ、將又將來ニ向ッテ其效力ヲ存續セシムルトコロノ意味デアアルカト云フ御尋デゴザイマス、憲法ニハ責任解除ノコトハ何等ゴザイマセヌデ、政府ト致シマシテハ責任解除ト云フ意味ハ少シモ含ンデ居リマセヌ、憲法ノ第八條ニ從ヒマシテ、將來ニ向ッテ其效力ヲ維持スルガタメニ承諾ヲ求メタル次第デゴザイマス、第二ノ御質問ノ若シ是ガ不承諾ニナツタ時ハ、如何デアアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、唯今政府ハ此十二件ノ勅令ニ對シマシテ、承諾ヲ求ムルタメニ帝國議會ニ提出シテゴザイマス、次第デ、今日ヨリ其承諾ヲ豫期シテ不承諾ノ場合ニハ、此ノ如クスルデアアラウト云フコトハ少々御答ニ苦ム次第デゴザイマス、第三ノ御尋デゴザイマスガ、是ハ帝國議會ノ存在不存在ノ如何ニ拘ハラズ、先例ハ澤山ゴザイマス、之ヲ惡先例ト云ハレマスカ知リマセヌガ、免ニ角先例ニハ相違アリマセヌデ、政府ハ是ヲ惡先例トハ認メマセヌ、而シテ其理由ハ先程總理大臣ヨリ既ニ述ベラレマシタル通り是ハ已ムヲ得ザル緊急ノ必要ガアッテ致シマシタル次第デアリマス

○花井卓藏君 法律問題デハナイノデアリマス、政治問題デアリマス(「ヒヤノ」ト呼フ者アリ)桂總理大臣ニ向テ御尋フ致シマス趣旨ハ、三點ゴザイマスガ唯今直ニ御答ヲ得ント欲スルコトコハ一點ニ止メテ置キタイト思フデアリマス、非常立法ハ憲法ノ喜バザルトコロアル、故ニ政府モ喜バヌデアアル、立憲政府ハ喜バヌデアアル、當時已ムヲ得ザルガ故ニ發生シタル非常立法デアアル、今日議會が開カレテ居ル以上ハ、此勅令當時ノ政府ハ朝鮮ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案ヲ提出シテ、之ヲ以テ彼ニ代フ、換言スレバ、正道立法ノ出來得ベキ今日ナラガ故ニ、常規ニ則リテ此法律案ヲ出ス、而シテ彼ノ變例立法ヲナシタル當時ノ事情情勢緊急逼迫ハ已ムヲ得ザルガ故ニ、議員ノ諒トセラレンコトヲ望ムト云フ趣旨ニ出デラレナケレバナラヌデアアラウト考ヘル、依然トシテ此變例立法ヲシテ、效力ヲ持續セシムルト云フコトハ、開カレタル議會目前ニ在リナガラ、餘リニ正式ノ立法權ヲ輕ク御覽ニナルヤウニ見エハ致シマセウカ、一國ノ宰相トシテ、憲法政治ノ宰相トシテ、憲法上ノ常規ニ復ヘラレヨ、復ヘラレヨ云フコトノ質問ニ存スルノデゴザイマスカラシテ、政治上ノ問題トシテ、議會ノ面目ヲ保タレ、憲法ノ精神ヲ貫ク趣旨ニ於テ、法律案ヲ御提出ニナル御考ハナイノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、尙添ヘテ申シテ置キマスガ、議會ニ於テ承諾シタナラバ、同モノヲ形ヲ變ヘテ提出スルノ必要ハナイト云フ御論ガアルカ知ラヌガ、決シテ然ラズ、法律ハ議員ノ有スル機能ニ依リマシテ、如何様ニモ改廢スルコトガ出來ルノデゴザイマス、然ルニ勅令ハ議會ノ力ヲ以テ致シマシテハ一字一句モ修正加除ヲ試ムルコトガ出來ナイノデアリマス、今日ニ於テモ出來ナイノデアアル、將來ニ效力ヲ持續セシメタ後ニ於テモ、議會ハ一指モ染ムルコトハ出來ヌデアリマス、若シ是ガ法律ノ形ニナツテ居リマスナラバ、今日若クハ將來ニ於テ此條ハ、斯ク改メナケレバナラナイ、彼ノ規程ハ斯ク改メナケレバナラナイ、此法律ハ最早廢シナケレバナラヌト云フコトノ自由ト云フモノハ、議會ニ於テ保持得ラルベキ順序ニ相成ルノデアアル、ソレ故ニ承諾ヲ與ヘシナラバ、ソレニテ同一物デアルト云フガ如キ、辯解ハ、本員聞クコトヲ欲セザルガ故ニ、豫メ御斷リヲ申シテ置クノデアアル

(内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇)
○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今花井君ヨリノ御質問竝ニ御意見ニ對シマシテ、御答ヲ致シマス、政府ハ議會ノ承諾ヲ得ルタメニ、此勅令ヲ提出シテ居リマスノデ、此場合ニ於キマシテ、花井君ノ御意見ノ如ク考ヘテ居リマセウ、左様御承知ヲ願ヒマス
○高木正年君 私ハ極メテ簡單デアリマスガ、極メテ重要ナ質問ヲ致シタイ、此承諾ヲ求ムル緊急勅令ノ案ノ中デ、先刻來問題トナツテ居リマスル此法案ノ内容ニ付テ承リタイノデアリマスガ、此法案ハ管ニ委任立法ノコトヲ規定シタルミデアリマス、第一條ハ朝鮮ニ於ケル法律ノ事項ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、第二條ハ此命令ヲ出ス手續ニ付テ總理大臣ヲ經テ勅裁ヲ請フコトニナツテ居ル、第三條ハ緊急場合ニ於テハ勅裁ヲ受ケズレ直ニ命令ヲ發スルコトヲ得トアル、ソレ故ニ勅令第三百二十四號ハ直ニ立法ヲ委任スルノミナラズ、憲法第八條ノ大權ノ發動ヲモ之ヲ委任スルト解サネバナラヌデアリマス、政府ハ何故ニ朝鮮ノ立法ヲ付テ斯ル重大ナコトヲ總督ニ委任

シナケレバ朝鮮ノ治安ヲ保ツコトガ出來ヌデアアルカト云フコトヲ御尋ネ致シマス臺灣ニ於ケル法令ノ六十二號ヲ規定スル場合ニ於テハ初メテ日本ノ領土トナツテ特ニ緊急勅令ヲ以テ其當時ノ必要ハ充タシタガ、將來ニ於テハ委任立法ヲナケレバナラヌト云フコトハ、當時ヨリ吾等ニ議論ノアツタコトデアアル、朝鮮ハ臺灣ヨリモ、モット事情ガ我日本ト近接致シテ居ル、其距離ノ上カラモ電報ヲ以テ縱令其委任立法ヲ任セルトシテモ、上奏裁可ヲ得ル手續ノ上ニ於テ、幾ラノ時間ヲ要スルコトデアリマセウ、立法ヲ委任スルノミナラズ更ニ憲法八條ノ大權ノ發動ヲモ任セバナラヌト云フ必要ハ何レニアルノデアリマスガ、此點ニ付テ明快ナル答辯ヲ私ハ希望スルノデアリマス(拍手起ル)
○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今高木正年君カラノ御質問デゴザイマスルガ、此緊急勅令ハ既ニ例ノアルコトデゴザイマシテ、臺灣ノ同一ノモノデアリマスノデス高木君ノ御意見デハ朝鮮ハ臺灣ヨリモ尙我國ニ近イデアアルカラ、斯ウ云フモノハ要ルマイト云フ考ノヤウニ、見エマスガ政府ノ考ヘルトコロニ依リマスレバ、朝鮮ハ臺灣ヨリモ尙風俗人情ヲ異ニシテ居ルト考ヘテ居リマス、故ニ此必要アリト認メテ提出致シマシタ次第デアリマス

○議長(長谷川純孝君) 岡田泰藏君
○岡田泰藏君 唯今ノ問題ニ對シテ先ツ松田君カラ說明ヲ求メラレ、此七十條ノ緊急勅令ハ具體的ニ政府ガ說明ヲシテ之ニ對スルコトコロノ協賛ヲ經ベキデアアルガ、之ハ至極最モダ七十條ハ「公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リテ政府ハ議會ヲ召集スルコト能ハサルトキ」云々トアル、吾等議會ハ此緊急勅令ニ對シテ承認ヲ與ヘルマデニハ、二段ノ判斷點ヲ有シテ居ルデアアル、即チ第一ハ事實ニ此法文ノ示ストコロノ條項ニ當嵌ルベキ事實アリシヤ否ヤ、此事實ノ上ニ對シテ吾等ガ果シテ事實アリシモノナラバ、承認ヲ與ヘルデアアル、唯政府ノ如クニ朝鮮ノ條約ニ依ツテ是ハ出來タノデアアル、緊急ノ必要ガアツタノデアアル、是ガ果シテ憲法七十條ノ勅令ヲ發布スルニ至ル原因ヲ證據立テ説明サレタルノデゴザイマセウカ、ドウデアリマセウカ我政府ガ求ムルコトコロノ事實ヲ明カニシテ、議會ニ對シテ承認ヲ經ベキコトコロノ責任ガアル、法律上ノ議論ヲ以テ答辯シテ、此勅令ノ協賛ヲ求メントスルハ誤リデアアル、事實其モノ、判明ヲ俟タナケレバ、第一ノ此勅令ヲ發布サレタコトコロノ承認ヲ得ル要件ガ判明セナイノデアアル、而シテ第二ニ此發布サレタコトコロノ法律其モノハ、果シテ是ハ永續セシムベキコトコロノ吾等ハ相當ノ法律ト見ルヤ否ヤハ、第二ノ判斷點デアアル、此二點ニ對スル順序ヲ經ルニアラザレバ、政府ハ徒ニ此緊急勅令ヲ發シテ、道理ヲ明カニセズシテ、此法律ノ永續ヲ希望サレルモノト言ハナケレバナラヌ、事茲ニ出デザルニ於テハ、自分等ハ無論之ニ對スルトコロノ議決ヲ爲スノ外ニ途ハナイト信シテ居リマス(拍手起ル)政府ノ説明ヲ求メタ

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今御質問者ノ言ハレマシタ如ク、政府ハソレ以上ノ必要ノ場合ヲ認メマシタカラシテ、此ノ如キ緊急ノ處分ヲシテ、而シテ議會ノ承諾ヲ求ムルニ出デタルデアリマス、何ヲ苦ンデ政府ガ我儘ヲスルタメニ、此ノ如キ緊急勅令ヲ出シテ、茲ニ提出スル必要モ無イ、又サウ云フ信念モ無イノデアリマス、其邊ヲ御答辯ヲ致シテ置キマス

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今御質問者ノ言ハレマシタ如ク、政府ハソレ以上ノ必要ノ場合ヲ認メマシタカラシテ、此ノ如キ緊急ノ處分ヲシテ、而シテ議會ノ承諾ヲ求ムルニ出デタルデアリマス、何ヲ苦ンデ政府ガ我儘ヲスルタメニ、此ノ如キ緊急勅令ヲ出シテ、茲ニ提出スル必要モ無イ、又サウ云フ信念モ無イノデアリマス、其邊ヲ御答辯ヲ致シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) ドウデセウ、次ノ日程ニ移ラウト思ヒマスガ……

(「賛成々々」異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガゴザイマセヌカラ、明治四十三年勅令第三百二十四號外十一件各案審査ノ委員選舉ヲ一括シテ議題ニ付シマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○菅原傳君 唯今ノ各案ハ一括シテ議長指名ニ付託セラレシコトヲ希望致シマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 唯今菅原君ノ動議ノ如ク、唯今報告シタル各案ヲ一括シテ議長指名ノ特別委員ニ付託スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 報告ガゴザイマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

船舶法中改正法律案

提出者 米 田 穰君 井上 敏夫君 戸水 寛人君

船舶検査法中改正法律案

提出者 米 田 穰君 井上 敏夫君 戸水 寛人君

鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 阿部 徳三郎君 榊田 清兵衛君 長 晴 登君

一早速整爾君ヨリ朝鮮ノ關稅ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一請願委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第五部請願委員 神前 修三君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル法律案

濱名 信平君 遠藤 良吉君 水品平右衛門君

木下 義之君 坂本 元明君 日野 國明君

岡崎 佐次郎君 川 越 進君 奥田 柳藏君

明治四十三年勅令第三百二十四號(承諾ヲ求ムル件)外十一件

伊藤 大八君 松本 君平君 松田 源治君

武滿 義雄君 木戸 豊吉君 鵜澤 總明君

西山 彰君 高橋 光威君 渡邊 千冬君

西谷 金藏君 高山 長幸君 關 信之介君

白石 義郎君 柏原 左源太君 島田 三郎君

卜部 喜太郎君 大内 暢三君 佐々木安五郎君

田川 大吉郎君 福田 又一君 高柳 覺太郎君

柴 四 朗君 淺野 陽吉君 竹内 正志君

中安 信三郎君 飯田 精一君 花井 卓藏君

國稅徵收法中改正法律案

根岸 峯太郎君 丹尾 頼馬君 徳田 讓甫君

古野 孫太郎君 大井 卜新君 國井 庫君

水野 正己君 近江谷 榮次君 石田 平吉君

○議長(長谷場純孝君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時一分散會

衆議院議事速記録第三號正誤

頁 段 行	誤	正	頁 段 行	誤	正
一八 上 三八	山東省ニハ 國民ガ	山東省ヨリ 清國民ガ	二四 上 三七	何處ニデモ 御實議	何處マデモ 御實疑